

工事費執行(変更)概要書				部長	次長	課長	課長補佐	課員	審査員	設計者											
執行年度	工事名		石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事																		
29 年度	工事場所		石岡市大砂10527番地6																		
設計(変更)概要				施工方法	請負・ 委託																
【建築物概要】				原契約年月日	平成 年 月 日																
建物等名称	構造・階数	建築面積	延べ面積	工 期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 100 日間																
石岡市特別養護老人ホームのぞみ	鉄骨造一部RC 地上1階	2,235.28 m ²	2,098.40 m ²																		
		m ²																			
		m ²																			
		m ²																			
				請 負 人																	
【工事概要】				費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 減 (△)													
工種	規格	数量	単位	起 工 額	円	円	円	円													
仮設工事		一式		請負に付する額	円	円	円	円													
防水改修工事	平場X-1工法, 立上りX-2工法	一式		工 事 価 格	円	円	円	円													
クーリングタワー撤去工事		一式		消費税相当額	円	円	円	円													
雑工事		一式		請負決定額	円	円	円	円													
変更理由				変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ (少数第7位切り捨て6位止め)																	
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">変更積算工事価格</td> <td style="width: 10%;">×</td> <td style="width: 33%;">請負比率</td> <td style="width: 10%;">=</td> <td style="width: 14%;">変更積算工事価格</td> </tr> <tr> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>								変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格	円				円
変更積算工事価格	×	請負比率	=	変更積算工事価格																	
円				円																	

特記仕様書（改修工事）

I 工事概要

1. 工事名 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事
2. 工事場所 石岡市大砂 10527 番地 6
3. 敷地面積 4103.17 m²
4. 建設工事その他概要（建物名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ, 構造 鉄骨造+RC造, 階数 1階, 建築面積 2235.28 m², 延べ面積 2098.40 m²）

(1) 工事範囲 ※図示

(2) 建物概要

(全体)

建物名称	石岡市特別養護老人ホームのぞみ		
構造	鉄骨造 一部RC 造	造 一部 造	造 一部 造
階数	地上 1階 地下 階	地上 階 地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	2235.28 m ²	m ²	m ²
延べ面積	2098.40 m ²	m ²	m ²

5. 別途工事

- ・
- ・
- ・

Ⅱ 建築改修工事仕様

1. 共通事項

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下部仕様書等のうち、を付けたものを適用する。
- ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - ・公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - ・建築工事標準詳細図（平成22年版）（以下、「標準詳細図」という。）
 - ・建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号にのついたものを適用する。
 - 2) 特記事項で※印、◎印、・印のある場合の適用は、下記による。
 - ◎印の付いたものを適用する。
 - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - ◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
 - ・印の付いたものは適用しない。
 - 3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該表又は当該図を示す。
 - 4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表又は当該図を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 適用区分	<p style="text-align: right;">(1.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 <ul style="list-style-type: none"> 風速(V0) ・ 30 ・ 32 ◎34 ・ 36 地表面粗度区分 ・ I ・ II ◎III ・ IV ・ 積雪荷重 <ul style="list-style-type: none"> 建設省告示第 1455 号における区域 別表 ()
	2 環境への配慮	<p style="text-align: right;">[1.4.1]</p> <p>(1) 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <p>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <p>①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生建築材料以外の材料</p> <p>②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生建築材料</p> <p>④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	3 材料の品質等	<p style="text-align: right;">[1.4.2]</p> <p>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <p>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③安定的な供給が可能であること。</p> <p>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</p>

章	項 目	特 記 事 項																									
1 一般共通事項		<p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材, 乾式保護材, 既製調合モルタル, 既製調合目地材, 錠前類, クローザ類, 自動扉機構, 自閉式上吊り引き戸機構, 防水剤, 現場発泡断熱材, フリーアクセスフロア, 移動間仕切, トイレブース, 煙突用成形ライニング材, 天井点検口, 床点検口, グレーチング, 屋上緑化システム, エポキシ樹脂, ポリマーセメントモルタル</p> <p>(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については, 茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）により, 県が定める「特定調達品目」について環境負荷を低減できる材料を選定するよう努めるものとする。 上記の条件を満たすものが市産材で確保できる場合には, その優先使用に努めるものとする。なお, 市産材とは, 「石岡市内で生産されたもの, 又は加工し製品化されたもの」とする。</p>																									
	4 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>室内空気中のホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン (学校施設については, パラジクロロベンゼンについても対象とする。) の濃度を測定し, 報告すること。</p> <p>測定は, 厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した, ホルムアルデヒドについては, ジニトロフェニルヒドラジン (DNPH) 誘導体化固相吸着/溶媒抽出-高速液体クロマトグラフ法により, その他については, 固相吸着/溶媒抽出-ガスクロマトグラフ/質量分析法により行い, パッシブサンプラー型採取方法にて採取すること。</p> <p>測定対象箇所は, 平成 15 年 4 月 1 日通知「官庁営繕部における平成 15 年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ, 下表の数を標準とする。(指針値は, 付記事項の 6 を参照)</p> <table border="1" data-bbox="531 1070 1476 1146"> <thead> <tr> <th>室の床面積 A (㎡)</th> <th>A ≤ 50</th> <th>50 < A ≤ 200</th> <th>200 < A ≤ 500</th> <th>500 < A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内空気中の化学物質の濃度測定室箇所表</p> <table border="1" data-bbox="531 1176 1332 1361"> <thead> <tr> <th>室名 (測定対象室)</th> <th>床面積</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A	測定箇所数	1	2	3	4	室名 (測定対象室)	床面積	測定箇所数												
室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A																							
測定箇所数	1	2	3	4																							
室名 (測定対象室)	床面積	測定箇所数																									
	5 埋設配管・配線および鉄筋調査	<p>あと施工アンカー工事 6 章 9 及び 8 章 16 による コア抜き, はつり工事等 ※既存資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 探査機 (電磁波レーダー法又は電磁誘導法) による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲 ※図示 放射線透過試験 労働安全衛生法, 「電離放射線障害防止規制」(昭和 47 年労働省令第 41 号) 等に定めるところによるほか, 次による。 <ol style="list-style-type: none"> 作業主任者は, エックス線作業主任者の資格を有するものとし, 資格を証明する資料を監督員に提出する 放射線照射量は最小限のものとし, 照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また, 作業員以外の立入禁止措置を講ずる。 露出時間は, コンクリートの厚さ等により, 適宜調整する。 付近にフィルム, 磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 躯体の墨出しは, 表裏でズレがないように措置を講ずる。 <p>撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm</p>																									

章	項目	特記事項																				
1 一般共通事項	6 リサイクルの優先順位	(1)発生抑制の徹底 (2)再使用の徹底 (3)再資源化の徹底 (4)適正処分の徹底 (再資源化に係る作成書類は、付記事項の5を参照)																				
	7 発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法 () ・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法 () ・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品目 ()																				
	8 下請人通知	建設工事請負契約書に基づく下請人通知書を、市と請負契約を締結した日から原則として30日以内、その後の下請け契約に係るものは、契約締結の日から10日以内に提出するものとする。																				
	9 技能士	(1.5.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック ・ALCパネル工事</td> <td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種別	技能検定作業	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業	外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業	建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業	塗装改修工事	・建築塗装作業	耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業	コンクリートブロック ・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業	石工事	・石張り作業	植栽工事	・造園工事作業
	適用工事種別	技能検定作業																				
	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ◎ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ◎シーリング 防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業 ・左官作業 ・内外装板金作業																				
	外壁改修工事	・左官作業 ・タイル張り作業 ・建築塗装作業																				
	建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																				
	内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・壁装作業 ・大工工事作業 ・タイル張り作業																				
	塗装改修工事	・建築塗装作業																				
	耐震改修工事	・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・とび作業																				
	コンクリートブロック ・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業																				
	石工事	・石張り作業																				
	植栽工事	・造園工事作業																				
10 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																					
11 既存部分との取合い	工事中に取合部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原型に復する。																					
12 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。																					
13 完成図等	(1.7.1~3) (表1.7.1) ※完成図 ※作成する ・作成しない 提出するもの ◎原図 ◎製本 4部 ※CADデータ (JWW形式) サイズ ・A1 ◎A2 2部 ◎A3 2部 ※CD-R 完成図 (JWW形式), 完成写真 (JPEG形式) を収録したもの ・維持保全に関する資料 (部数 ※1部)																					
14 引渡物	※鍵は1カ所につき、3個を1組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は、1組3個とし、木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																					

章	項 目	特 記 事 項																				
1 一般共通事項	15 提出書類	<p>※写真</p> <table border="1" data-bbox="539 197 1460 347"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>内容</th> <th>枚数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>工事写真</td> <td>適宜</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>完成写真（支払用：内外観）</td> <td>各2枚以上</td> <td>1</td> <td>A4台紙(サビズ)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>完成写真（・データ共）</td> <td>適宜</td> <td>2</td> <td>アルバム(キャビネ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>完成写真（アルバム）の撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影実績のある業者とする)</p> <p>◎規格品証明書（原品証明書，同等品試験証明書，試験成績書等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス圧接作業員技量資格証明書（写し） ・ガス圧接試験報告書 ・コンクリート強度試験報告書 ・杭打結果報告書 ・溶接工技量証明書（表・裏とも写し） <p>◎防水保証書（9-1. 2. 3. 4は10年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート配合計画書 <p>◎工事实績情報の登録内容確認書の写し</p> <p>※火災保険等に参加したことを証明できる書類</p> <p>◎建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し</p> <p>※施工体制台帳の写し</p> <p>※施工体系図の写し</p> <p>◎産業廃棄物処理関係書類（産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し，産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し，マニフェストの写し等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内装材（下地を含む）にVOC材料を使用した場合は，製品安全データシート（MSDS）及びホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン，有機リン系の含有率のデータシート ・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 <p>※建設副産物実態調査に関するデータ保存FD及び出力調査票</p> <p>※その他 監督員が必要と認め，指示した書類及び部数</p>	適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真（支払用：内外観）	各2枚以上	1	A4台紙(サビズ)	・	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)
	適用	内容	枚数	部数	備考																	
※	工事写真	適宜	1	電子納品																		
※	完成写真（支払用：内外観）	各2枚以上	1	A4台紙(サビズ)																		
・	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)																		
16 埋蔵文化財	<p>※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削作業に際しては，工事立会，試掘確認調査等を要する。施工にあたっては，あらかじめ，工事日程，掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上，監督員，施設管理担当，教育庁文化課担当と協議を行うこと。 ・掘削作業に際しては，慎重に施工のこと。施工にあたり，文化財その他の埋蔵物を発見した場合は，直ちにその状況を監督員に報告すること。 																					

章	項目	特記事項																															
2 仮設工事	1 足場	[2.2.1] ◎「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における1の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ・内部足場 種別(※きやつ、足場板等) ◎外部足場 種別(※指定なし ◎A種 ・B種 ◎C種 ・D種 ・E種) [表2.2.1] ◎防護シートを設置(仕様、設置範囲等は図示による。) 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・A種 ◎B種 ・C種 ・D種 ・E種) [表2.2.2] C種：利用可能なエレベーター () D種：利用可能な階段 ()																															
	2 養生	[表2.3.1] 1) 養生の方法等 ・既存部分 養生の方法(※ビニールシート等) ・既存家具等 養生の方法(※ビニールシート等) ・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニールシート等) 保管場所(・図示) ・備品、机、ロッカー等の移動 (・図示) 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合には養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																															
	3 監督員事務所	※設ける (2.3.1) 規模： m ³ 程度 仕上げの程度： 程度 備え付ける備品： ・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台 ・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・寒暖計 ・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・安全帯 ・受託者加入電話の子機 ・暖冷房機 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ・その他 () ◎設けない																															
	4 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり(・利用できる(有償) ※利用できない)																															
	5 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり(・利用できる(有償) ※利用できない)																															
	6 仮設間仕切り	[2.3.2][表2.3.1] 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せっこうボード(9.5)</td> <td>・無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・軽量鉄骨</td> <td>・合板(9.0)</td> <td>・片面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充てん材：グラスウール32K(厚：50mm以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し ・片面</td> <td>※有り ・無し</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 充てん材：グラスウール32K(厚：50mm以上)	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せっこうボード(9.5)	・無し	※有り	・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0)	・片面		※C種	単管	防炎シート			材質	仕上げ	塗装	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し	・		
種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																													
・A種	・木	・せっこうボード(9.5)	・無し	※有り																													
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0)	・片面																														
※C種	単管	防炎シート																															
材質	仕上げ	塗装	充填材																														
※木製	※合板張り程度	・無し ・片面	※有り ・無し																														
・																																	

章	項目	特記事項																															
3 防水改修工事	1 施工数量調査	[1.5.2~3] 調査範囲 ◎図示の範囲 調査方法 ◎図示 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ◎監督職員と協議決定 調査報告書 提出部数 ◎2部																															
	2 降雨等に対する養生方法（とい共）	[3.1.3] ※改修標準仕様書 3.1.3(e) (1)~(3)による																															
	3 既存防水の処理	[3.2.3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない 既存防水層の撤去 ◎行う（範囲 ◎図示 ・ ） ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装撤去 ・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X） ◎行わない																															
	4 既存防水層の下地補修	[3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ◎図示 POS 工法及び POSI 工法（機械式固定法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び措置 ※改修標準仕様書 3.2.6(d) (3) (vii)①~③による																															
	5 アスファルト防水	[3.3.2~4, 3.3.5] 屋根保護防水 防水層の種類																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td>※ホ[®] リスレンフィルム 厚さ 0.15mm 以上</td> <td rowspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え </td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ・B-2 ・B-3</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・AI-1 ・AI-2 ・AI-3</td> <td></td> <td>(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ[®] リスレンフォーム 保温材の保温板 3 種 b (スキあり)</td> <td>※フラットヤークロス 70g/m² 程度</td> </tr> <tr> <td>・P1BI ・T1BI</td> <td>・BI-1 ・BI-2 ・BI-3</td> <td></td> <td>・ (厚さ)・25mm</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		/	※ホ [®] リスレンフィルム 厚さ 0.15mm 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え 	・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3		・	・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ [®] リスレンフォーム 保温材の保温板 3 種 b (スキあり)	※フラットヤークロス 70g/m ² 程度	・P1BI ・T1BI	・BI-1 ・BI-2 ・BI-3		・ (厚さ)・25mm	・					
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																												
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		/	※ホ [®] リスレンフィルム 厚さ 0.15mm 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え 																												
・P1B	・B-1 ・B-2 ・B-3			・																													
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ [®] リスレンフォーム 保温材の保温板 3 種 b (スキあり)	※フラットヤークロス 70g/m ² 程度																													
・P1BI ・T1BI	・BI-1 ・BI-2 ・BI-3		・ (厚さ)・25mm	・																													
		<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.3.3 から表 3.3.9 による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.3.3 から表 3.3.9 による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル貼り ※水下 60mm 以上</p> <p>・乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成型しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を一体化したもの。</p>																															

章	項目	特記事項							
3	防水改修工事	屋根露出防水 防水層の種類							
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	使用量	高日射 反射率 防水の 適用	備考
		・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	
		・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2		(材質)※JIS A 9511 によるA種硬質ウレタン フォーム保温材の保温板 2種1号又は2号で 透湿係数を除く規定 に適合するもの ・ (厚さ)・25mm	・製造所 の指定 による	・製造所 の指定 による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
		脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトフィング類製造所の指定による・脱気装置の種類, 設置数量 個/㎡ 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の, ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張り じまい位置 ※図示							
		防水層の種類							
		工法	種別	施工箇所	備考				
		・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		保護層	・設ける ・設けない			
		押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示							
6	改質アスファルト シート防水	防水層の種類					[3.4.2]		
工法	種別	施工箇所	断熱材	高日射反射率防 水の適用		備考			
・M4AS	・AS-T1		/	・					
	・AS-T2								
	・AS-J3								
・M3AS	・AS-T3		/	・		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			
	・AS-T4								
	・AS-J2								
・POAS	・AS-T3		/	・		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない			
	・AS-T4								
	・AS-J2								
	・AS-J4								
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1		(材質)※JIS A 9511によるA種硬 質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1 号又は2号で透湿係数を除く規定 に適合するもの ・ (厚さ)・25mm	・ ・		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない			

章	項目	特記事項																																																							
3	防水改修工事	<p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.4.1 から表 3.4.3 による</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルト製造所の指定による ・脱気装置の種類 ， 設置数量 個/m²</p> <p>押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による</p>																																																							
	7 合成分子系ルーフィングシート防水	<p style="text-align: right;">[3.5.2] [表 3.5.1, 2]</p> <table border="1" data-bbox="518 593 1476 1534"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">・POS ・S4S</td> <td>・S-F1</td> <td></td> <td rowspan="5"></td> <td rowspan="5">・カー ・シルバー</td> <td rowspan="5">・ ・ ・ ・</td> <td rowspan="5">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S3S</td> <td>・S-F1</td> <td></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・カー ・シルバー</td> <td rowspan="2">・ ・</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M4S</td> <td>・S-M1</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・カー ・シルバー</td> <td rowspan="3">・ ・</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI</td> <td>・SI-F1</td> <td></td> <td rowspan="4">(材質)※JIS A 9511 による A 種^ホ リスレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm</td> <td rowspan="4">・カー ・シルバー</td> <td rowspan="4">・ ・</td> <td rowspan="4">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・SI-F2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SI-M2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表 3.5.1 から表 3.5.2 による</p> <p>絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 ， 設置数量 個/m²</p> <p>防水下地が PC コンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 ・行う (工法) ・行わない</p> <p>入隅部の増張り ・行う (S-F1, SI-F1 の場合) ・行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考	・POS ・S4S	・S-F1			・カー ・シルバー	・ ・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S-M1		・S-M2		・S-M3		・S-F2		・S3S	・S-F1			・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない	・S-F2		・M4S	・S-M1			・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない	・S-M2		・S-M3		・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1		(材質)※JIS A 9511 による A 種 ^ホ リスレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm	・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・SI-F2		・SI-M1		・SI-M2	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考																																																			
・POS ・S4S	・S-F1			・カー ・シルバー	・ ・ ・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																			
	・S-M1																																																								
	・S-M2																																																								
	・S-M3																																																								
	・S-F2																																																								
・S3S	・S-F1			・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																			
	・S-F2																																																								
・M4S	・S-M1			・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない																																																			
	・S-M2																																																								
	・S-M3																																																								
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1		(材質)※JIS A 9511 による A 種 ^ホ リスレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ (厚さ)・25mm	・カー ・シルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																			
	・SI-F2																																																								
	・SI-M1																																																								
	・SI-M2																																																								

章	項目	特記事項																														
3 防水改修工事	8 塗膜防水	[3.6.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎POX</td> <td>※X-1 ・X-2 ・</td> <td></td> <td>◎カー ・シルバー</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ◎設ける・設けない 改修用ドレ・設ける◎設けない</td> </tr> <tr> <td>◎L4X</td> <td>・X-1 ※X-2 ・</td> <td></td> <td>◎カー ・シルバー</td> <td>・</td> <td>脱気装置 ・設ける◎設けない</td> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>保護層 ・設ける・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2 ・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>保護層 ・設ける・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料製造所の指定による ・ ◎脱気装置の種類 ステンレス製 , 設置数量 0.014 個/㎡</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考	◎POX	※X-1 ・X-2 ・		◎カー ・シルバー	・	脱気装置 ◎設ける・設けない 改修用ドレ・設ける◎設けない	◎L4X	・X-1 ※X-2 ・		◎カー ・シルバー	・	脱気装置 ・設ける◎設けない	・P1Y	※Y-2 ・			・	保護層 ・設ける・設けない	・P2Y	※Y-2 ・			・	保護層 ・設ける・設けない
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考																										
	◎POX	※X-1 ・X-2 ・		◎カー ・シルバー	・	脱気装置 ◎設ける・設けない 改修用ドレ・設ける◎設けない																										
◎L4X	・X-1 ※X-2 ・		◎カー ・シルバー	・	脱気装置 ・設ける◎設けない																											
・P1Y	※Y-2 ・			・	保護層 ・設ける・設けない																											
・P2Y	※Y-2 ・			・	保護層 ・設ける・設けない																											
9 シーリング	[3.7.2, 8] シーリング改修工法の種類 ◎シーリング充填工法 ◎シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類, 施工箇所 ※下記以外は, 改修標準仕様書表 3.7.1 による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示による</td> <td>ポリウレタン系 PU-2</td> </tr> </tbody> </table> シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書 3.7.3(a) (1)～(3)による ・	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	図示による	ポリウレタン系 PU-2																											
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																															
図示による	ポリウレタン系 PU-2																															
10 とい	[3.8.2, 3] といの材種 ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 既製のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ 鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表 3.8.5 による ・ たてどい受金物の取付け ※図示 ・ ルーフドレンの取付け ※水はけがよく, 床面より下げ, 周囲の隙間にモルタルを充填	種別	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用																								
種別	施工箇所																															
・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)																																
・バルコニー用																																
・バルコニー中継用																																

章	項目	特記事項
3 防水改修工事	11 アルミニウム製笠木	<p style="text-align: right;">[3.9.2]</p> <p>種類 ・オープン形式（・250形 ・300形 ・350形 ・100形） ・板材折曲げ形（本体幅： mm 板厚：※2.0mm ・ mm）</p> <p>表面処理 種別（ ）種 皮膜等の種類（※標準仕様書表 14.2.1による ・ ） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー）</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ・ ） ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示 ・</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法） ・適用しない</p>

章	項目	特記事項															
4 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※外壁改修範囲 ◎図示の範囲 [1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ◎監督職員と協議決定 調査報告書の部数 ◎2部 ・															
	2 可とう性エポキシ樹脂	[4.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能</th> <th>常温物性</th> <th>低温性</th> <th>加熱変化</th> <th>引張接着性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引張強さ</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>最大引張応力1.0N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>伸び</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>30.0%以上</td> <td>破断時の伸び10%以上</td> </tr> </tbody> </table> 比重 表示値±0.10 押出し性 60秒以内 スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	引張強さ	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	最大引張応力1.0N/mm ² 以上	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び10%以上
	性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性												
	引張強さ	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	最大引張応力1.0N/mm ² 以上												
	伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び10%以上												
	3 パテ状エポキシ樹脂	[4.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>初期硬化性(標準)</th> <th>接着強さ(標準)</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> <th>硬化収縮率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0N/mm²以上</td> <td>6.0N/mm²以上</td> <td>50.0N/mm²以上</td> <td>30.0N/mm²</td> <td>3.0(%)以下</td> </tr> </tbody> </table> a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。	初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率	2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ²	3.0(%)以下					
初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率													
2.0N/mm ² 以上	6.0N/mm ² 以上	50.0N/mm ² 以上	30.0N/mm ²	3.0(%)以下													
4 エポキシ樹脂モルタル	[4.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>接着強さ</th> <th>圧縮強さ</th> <th>曲げ強さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.0N/mm²以上</td> <td>20.0N/mm²以上</td> <td>10.0N/mm²以上</td> </tr> </tbody> </table> a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入が無いこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。 e. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6ヶ月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。	接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上										
接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ															
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上															
5 ポリマーセメントモルタル	[4.2.2] ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">曲げ強さ(N/mm²)</th> <th rowspan="2">圧縮強さ(N/mm²)</th> <th colspan="2">接着強さ(N/mm²)</th> <th rowspan="2">低温時</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>湿潤時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> <td>0.5以上</td> </tr> </tbody> </table> 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害とみとめられる異物の混入がないこと。	曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)	接着強さ(N/mm ²)		低温時	標準時	湿潤時	6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上				
曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)			接着強さ(N/mm ²)			低温時										
		標準時	湿潤時														
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上													
6 ポリマーセメントスラリー	[4.2.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>広がり速度(cm/s)</th> <th>長さ変化率(収縮)</th> <th>引張接着性(材齢28日)</th> <th>曲げ性能(材齢28日)</th> <th>吸水性(72時間)</th> <th>耐久性(劣化曲げ強さ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3以上</td> <td>3%</td> <td>0.5N/mm²以上</td> <td>5.0N/mm²以上</td> <td>15%以下</td> <td>5.0N/mm²以上</td> </tr> </tbody> </table> 保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00	広がり速度(cm/s)	長さ変化率(収縮)	引張接着性(材齢28日)	曲げ性能(材齢28日)	吸水性(72時間)	耐久性(劣化曲げ強さ)	3以上	3%	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上				
広がり速度(cm/s)	長さ変化率(収縮)	引張接着性(材齢28日)	曲げ性能(材齢28日)	吸水性(72時間)	耐久性(劣化曲げ強さ)												
3以上	3%	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上												

章	項 目	特 記 事 項														
4 外壁改修工事	7 既製調合モルタル	<p style="text-align: right;">[4.2.2]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1" data-bbox="539 277 1460 421"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保水率 (%)</th> <th rowspan="2">単位容積 質量 (kg/l)</th> <th colspan="2">接着強さ (N/mm²)</th> <th rowspan="2">長さ変化率 (%)</th> <th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>温冷繰り 返し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70.0 以上</td> <td>1.80 程度</td> <td>0.60 以上</td> <td>0.40 以上</td> <td>0.20 以下</td> <td>4.0 以上</td> </tr> </tbody> </table>	保水率 (%)	単位容積 質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	標準時	温冷繰り 返し後	70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上
	保水率 (%)	単位容積 質量 (kg/l)			接着強さ (N/mm ²)				長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)						
			標準時	温冷繰り 返し後												
70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上											

章	項 目	特 記 事 項																								
4 の 1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	<div style="text-align: right;">[4. 2. 2] [4. 3. 4~6]</div> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂注入工法 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">工法の種類</th> <th style="width: 20%;">ひび割れ幅(mm)</th> <th style="width: 20%;">注入口間隔(mm)</th> <th style="width: 30%;">注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>※200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・手動式球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td>・機械式球 杉樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p> エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜き取り ・行う ・行わない 抜き取り個数 ※長さ 500mm ごと及びその端数につき 1 個 ・ 抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ ◎U カットシール材充てん工法 ◎シーリング材 充填材料 ※1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ・ ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ◎行わない ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 </p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧球 杉樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※200~300	・ 130	・手動式球 杉樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40		0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70	・機械式球 杉樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130				・
	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																						
※自動式低圧球 杉樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※200~300	・ 130																							
・手動式球 杉樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																							
	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																							
・機械式球 杉樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																							
			・																							
2 欠損部改修工法	<div style="text-align: right;">[4. 2. 2] [4. 3. 7]</div> <ul style="list-style-type: none"> ※充てん工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・ 																									

章	項目	特記事項																								
4 の 2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	1 既存モルタル塗りの撤去	・ 行う (※全面 ・ 図示の範囲)																								
	2 ひび割れ部改修工法	[4. 4. 2] [4. 4. 5~7] ・ 樹脂注入工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>※200~300</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・ 50~100</td> <td>・ 40</td> </tr> <tr> <td>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・ 100~200</td> <td>・ 70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・ 150~250</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※200~300	・ 130	・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40	・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70		0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130				・
	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																						
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	※200~300	・ 130																						
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・ 50~100	・ 40																							
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3 以上~0.5 未満	・ 100~200	・ 70																							
	0.5 以上~1.0 以下	・ 150~250	・ 130																							
			・																							
		エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア抜き取り ・ 行う ・ 行わない 抜き取り個数 ※長さ 500mm ごと及びその端数につき 1 個 抜き取り部の補修方法 ※図示 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂																								
3 欠損部改修工法	[4. 4. 2] [4. 4. 8~9] ・ 充てん工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗り厚が 25mm を超える場合の措置 ※図示																									

章	項目	特記事項																							
4 の 3 外壁 改修 工事 タイル 張り 仕上 げ外 壁	1 既存タイル張りの撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ 																							
	2 ひび割れ部改修工法	<p>[4. 2. 2] [4. 5. 5~6]</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（・コンクリート面 ・モルタル面）</p> <p>※樹脂注入工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>注入工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~1.0 以下</td> <td>・200~300</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2 以上~0.3 未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>0.3 以上~0.5 未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5 以上~1.0 以下</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>エポキシ樹脂 ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜き取り ・行う ・行わない 抜き取り個数 ※長さ 500mm ごと及びその端数につき 1 個 抜き取り部の補修方法 ※図示 ・U カットシーリング材充填工法（既存タイル張り撤去面） ・シーリング材 充填材料 ※1 成分形又は 2 成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	・200~300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・50~100	・40	0.3 以上~0.5 未満	・100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・150~250	・130				・
	注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																					
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~1.0 以下	・200~300	・130																						
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上~0.3 未満	・50~100	・40																						
	0.3 以上~0.5 未満	・100~200	・70																						
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5 以上~1.0 以下	・150~250	・130																						
			・																						
3 欠損部改修工法	<p>[4. 2. 2] [4. 5. 7, 8]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイル部分張替え工法 接着材の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557 による一液反応硬化形変形シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 ・タイル張替え工法 接着材の種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557 による一液反応硬化形変形シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557 による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表 4. 5. 1 による タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 <ul style="list-style-type: none"> 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 <ul style="list-style-type: none"> 打継ぎ目地, ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変形シリコーン系 																								

章	項目	特記事項						
		[4.2.2] [4.5.9~15]						
4 の 3 外壁 改修 工事 タイル 張り 仕上 げ外 壁	4 浮き部改修工法	工法の種類	アンカーの本数 (本/m ²)		注入口の個所数 (個所/m ²)		充填量 (ml/箇所)	注入量 (ml/箇所)
			一般部	指定部	一般部	指定部		
		・アンカー部分 球状樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・	—
		・アンカー全面 球状樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	—	※25 ・
		・アンカー全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	—	※50 ・
		・注入口付アンカー部分 球状樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・	—
		・注入口付アンカー全面 球状樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	—	—
		・注入口付アンカー全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	—	※50 ・
		・注入口付アンカー 球状樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	※25 ・	—
		・タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—	—
		・タイル張り替え工法	—	—	—	—	—	—
<p>アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・</p> <p>注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304), 呼び径外径6mm ・</p> <p>・タイル部分張替え工法 接着材の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変形シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 接着材の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化形変形シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による ・</p> <p>タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り 外装ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地, ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※変形シリコーン系</p>								

章	項目	特記事項																																																							
4 の 3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	5 目地改修工法	[4. 5. 16] ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示 ・																																																							
	6 タイルの形状・寸法等	[4. 2. 2] <table border="1" data-bbox="529 347 1473 622"> <thead> <tr> <th rowspan="2">主な用途 による区分 施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の 適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施 ゆう</th> <th>無 ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="529 622 970 723">標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p>	主な用途 による区分 施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の 適用	耐凍害性		備考	I類	II類	III類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
主な用途 による区分 施工箇所	形状寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の 適用	耐凍害性			備考																																										
		I類	II類	III類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注		有	無																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																												

章	項目	特記事項																																																					
4 の 4 塗り仕上げ外壁	1 所要量の確認	[4.6.2] [表4.6.1] 工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による																																																					
	2 既存塗膜等の除去及び下地処理	[4.6.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)</td> <td>・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・</td> <td>※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※図示 ・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法	・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)		・塗膜はく離剤工法	※図示 ・		・水洗い工法	※図示 ・																																							
	工法	処理範囲	下地面の補修																																																				
	・サンダー工法	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	・ひび割れ部 改修工法 ・浮き部 改修工法 ・欠損部 改修工法																																																				
	・高圧水洗工法 加圧力※30MPa 程度以上 ・	※図示 ・ (既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)																																																					
・塗膜はく離剤工法	※図示 ・																																																						
・水洗い工法	※図示 ・																																																						
3 下地調整塗材	[4.6.4] ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材																																																						
4 仕上塗材仕上げ	[4.6.5] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 新規仕上塗材の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">・薄付け 仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> <td rowspan="6">・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付仕上 塗材</td> <td>・外装薄塗材 C</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">・複層仕上 塗材</td> <td>・複層塗材 CE</td> <td>・</td> <td rowspan="8">・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形3種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 Si</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう系 改修用 仕上塗材</td> <td>・可とう系改修塗材 E</td> <td>・</td> <td rowspan="3">・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状</td> </tr> <tr> <td>・可とう系改修塗材 RE</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・可とう系改修塗材 CE</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等	・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・可とう形外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・可とう形外装薄塗材 E	・	・防水形外装薄塗材 E	・	・外装薄塗材 S	・	・厚付仕上 塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない	・外装薄塗材 Si	・	・外装薄塗材 E	・	・複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形3種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない	・可とう形複層塗材 CE	・	・複層塗材 Si	・	・複層塗材 E	・	・複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 CE	・	・防水形複層塗材 E	・	・防水形複層塗材 RE	・	・防水形複層塗材 RS	・	・可とう系 改修用 仕上塗材	・可とう系改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状	・可とう系改修塗材 RE	・	・可とう系改修塗材 CE	・
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等																																																				
・薄付け 仕上塗材	・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ロー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																				
	・可とう形外装薄塗材 Si	・																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																					
	・可とう形外装薄塗材 E	・																																																					
	・防水形外装薄塗材 E	・																																																					
	・外装薄塗材 S	・																																																					
・厚付仕上 塗材	・外装薄塗材 C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 上塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・外装薄塗材 Si	・																																																					
	・外装薄塗材 E	・																																																					
・複層仕上 塗材	・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形3種 ・ 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 増塗材 ・適用する ・適用しない																																																				
	・可とう形複層塗材 CE	・																																																					
	・複層塗材 Si	・																																																					
	・複層塗材 E	・																																																					
	・複層塗材 RE	・																																																					
	・防水形複層塗材 CE	・																																																					
	・防水形複層塗材 E	・																																																					
	・防水形複層塗材 RE	・																																																					
・防水形複層塗材 RS	・																																																						
・可とう系 改修用 仕上塗材	・可とう系改修塗材 E	・	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状																																																				
	・可とう系改修塗材 RE	・																																																					
	・可とう系改修塗材 CE	・																																																					
5 マスチック塗材塗り	[4.6.6] 種別 ・A種 ・B種																																																						

章	項目	特記事項																											
5 建具改修工事	1 改修工法	[5. 1. 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 ． 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ．</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	—	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																									
	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																									
	・樹脂製建具	—	・	・建具表による																									
	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																									
・内部		・	・建具表による																										
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																										
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																										
2 防火戸	[5. 1. 4] ・適用する 適用箇所（・建具表による ．） ・適用しない																												
3 見本の製作等	[5. 1. 5] 建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等がわかる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない																												
4 防犯建物部品	[5. 1. 7] ・適用する（ ） 適用箇所（・建具表による ．） ・適用しない																												
5 アルミニウム製建具	[5. 2. 2, 4, 5] [表 5. 2. 2] 性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：※建具表による ．） ・B種（建具符号：※建具表による ．） ・C種（建具符号：※建具表による ．） 防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ．） ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ．） ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ．） ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ． 表面処理 外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 ． 皮膜等の種類（※改修標準仕様書表 5. 2. 2による ．） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） 屋内の建具 ・C-1種 ・C-2種 ． 皮膜等の種類（※改修標準仕様書表 5. 2. 2による ．） 着色（・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー） 結露水の処理方法 ※図示 ． 水切り板, ぜん板 ※図示 ． 網戸等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステン製(SUS316)製</td> <td>※0. 25mm 以上 ・</td> <td>※16～18 メッシュ ・</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステン製(SUS304)線材</td> <td>1. 5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステン製(SUS316)製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・	・防鳥網	ステン製(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法 15mm																
種類	材種	線径	網目																										
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステン製(SUS316)製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・																										
・防鳥網	ステン製(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法 15mm																										

章	項目	特記事項									
5 建具改修工事	6 樹脂製建具	[5. 3. 2~5] 性能等級 外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ※建具表による) ・ B種 (建具符号: ※建具表による) ・ C種 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・) (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 表面色 ※標準色 ・ 特注色 水切り板, ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス									
	7 鋼製建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] [表 5. 4. 2] 性能等級 簡易気密型 ・ 適用する (建具符号: ※建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 (建具符号: ※建具表による) ・ S-5 (建具符号: ※建具表による) ・ S-6 (建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 鋼板 <table border="1" data-bbox="528 1317 1477 1491"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12 又は F12</td> <td>・ 改修標準仕様書表 5. 4. 2 による</td> </tr> <tr> <td>・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td> <td>※Y08</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材料	めっき付着量	厚さ	・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12	・ 改修標準仕様書表 5. 4. 2 による	・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	・
	材料	めっき付着量	厚さ								
・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12	・ 改修標準仕様書表 5. 4. 2 による									
・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	・									
8 鋼製軽量建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2~4] 性能等級 簡易気密型 ・ 適用する (建具符号: ※建具表による) ・ 適用しない 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) ・ 適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル皮膜鋼板 ・ カラー鋼板 鋼板の厚さ ・ 改修標準仕様書表 5. 5. 1 による 召合せ, 縦小口包み板の材質 ※鋼板 ◎建具表による										

章	項目	特記事項																				
5 建具改修工事	9 ステンレス建具	[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2~4] 性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ※建具表による) ・S-5 (建具符号: ※建具表による) ・S-6 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 鋼板 (屋外) ※SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 鋼板 (屋内) ※SUS430, SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※HL 仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ																				
	10 建具用金物	[5. 7. 2, 3] 金物の種類・見え掛かり部の材質等 ※改修標準仕様書表 5. 7. 1 による 樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表 5. 7. 3 による 握り玉, レバーハンドル, 押板類, クレセントの取付位置 ・建具表による ・錠前類 【シリンダ箱状及びシリンダ本締め錠】 ・錠前類 【レバーハンドル】 ・クローザ類																				
	11 鍵	[5. 7. 4] マスターキー ※製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室 3 本 1 組 鍵箱 ※無 ・有																				
	12 自動ドア開閉機構	[5. 8. 2, 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの方式</th> <th>凍結防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL D-1 ・DSL D-2</td> <td>※改修標準仕様書表 5. 8. 1 による ・</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ</td> <td>・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・SWD-1 ・SWD-2</td> <td>※改修標準仕様書表 5. 8. 2 による ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図示</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL D-1 ・DSL D-2	※改修標準仕様書表 5. 8. 1 による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	・SWD-1 ・SWD-2	※改修標準仕様書表 5. 8. 2 による ・				・図示	・			
	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止																	
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL D-1 ・DSL D-2	※改修標準仕様書表 5. 8. 1 による ・	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない																		
・SWD-1 ・SWD-2	※改修標準仕様書表 5. 8. 2 による ・																					
・図示	・																					
13 自閉式上吊り引戸装置	[5. 9. 3] 性能 ※改修標準仕様書表 5. 9. 1 による																					

章	項目	特記事項																																									
5 建具改修工事	14 重量シャッター	[5. 10. 2, 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>シャッターの種類</th> <th>耐風圧強度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・一般重量シャッター</td> <td>耐風圧強度 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・外壁用防火シャッター</td> <td>耐風圧強度 () N/m²</td> </tr> <tr> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋内用防煙シャッター</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又は F12 ・</p>	シャッターの種類	耐風圧強度	・一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・屋内用防火シャッター		・屋内用防煙シャッター																																
	シャッターの種類	耐風圧強度																																									
	・一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²																																									
	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²																																									
・屋内用防火シャッター																																											
・屋内用防煙シャッター																																											
15 軽量シャッター	[5. 11. 2~4] 開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² スラットの材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06 又は F06 ・) ・JIS G 3318 (塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90 ・) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形																																										
16 オーバーヘッドドア	[5. 12. 2, 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧 区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・125 ・100 ・75 ・50</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </tbody> </table>	セクション材料による区分	耐風圧 区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																
セクション材料による区分	耐風圧 区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																							
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																							
17 ガラス	[3. 7] [5. 13. 2~4] [表 5. 13. 1] ・合わせガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>構成種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス</td> <td>・II-1類・II-2類 ・III類</td> </tr> </tbody> </table> ・強化ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>構成種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・熱線吸収板ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>性能</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ・複層ガラス <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>断熱性</th> <th>日射遮へい性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・断熱複層ガラス</td> <td>・1種</td> <td>U1</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>U2</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>U-3-1 ・U-3-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・日射熱遮へい複層ガラス</td> <td>・4種</td> <td>E4</td> </tr> <tr> <td>・5種</td> <td>E5</td> </tr> </tbody> </table>	品種	構成種類	性能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類	品種	構成種類	性能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類	・型板ガラス	・型板強化ガラス		品種	性能	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス			品種	断熱性	日射遮へい性	・断熱複層ガラス	・1種	U1	・2種	U2	・3種	U-3-1 ・U-3-2	・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4	・5種	E5
品種	構成種類	性能																																									
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス	・I類																																									
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス	・II-1類・II-2類 ・III類																																									
品種	構成種類	性能																																									
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類																																									
・型板ガラス	・型板強化ガラス																																										
品種	性能	色調																																									
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																									
・熱線吸収網入磨き板ガラス																																											
品種	断熱性	日射遮へい性																																									
・断熱複層ガラス	・1種	U1																																									
	・2種	U2																																									
	・3種	U-3-1 ・U-3-2																																									
・日射熱遮へい複層ガラス	・4種	E4																																									
	・5種	E5																																									

章	項目	特記事項																																																									
5 建具改修工事		<p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>日射遮へい性</th> <th>耐久性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)</td> <td>・2種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・3種</td> <td>B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>反射皮膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラスの留め材</th> <th>ガラスの溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・ガasket ・グレイズingチャンセル形 ・</td> <td>※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材 ・</td> <td>※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材 ・</td> <td>※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・</td> </tr> </tbody> </table>	品種	日射遮へい性	耐久性	・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)	・1種	A種	・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)	・2種	・A種 ・B種		・3種	B種	材料板ガラスによる種類の名称	色調	・フロート倍強度ガラス	-	・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	建具の種類	ガラスの留め材	ガラスの溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイズingチャンセル形 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・	ステンレス製	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・																											
	品種	日射遮へい性	耐久性																																																								
	・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー)	・1種	A種																																																								
	・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)	・2種	・A種 ・B種																																																								
		・3種	B種																																																								
	材料板ガラスによる種類の名称	色調																																																									
	・フロート倍強度ガラス	-																																																									
	・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																									
	建具の種類	ガラスの留め材	ガラスの溝の大きさ(mm)																																																								
	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガasket ・グレイズingチャンセル形 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・																																																								
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・																																																									
ステンレス製	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表 5.13.1 による ・図示 ・																																																									
18	ガラスブロック	<p style="text-align: right;">[5.3.15]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面形状</th> <th rowspan="2">呼び寸法</th> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="2">色調</th> <th colspan="2">目地幅(mm)</th> <th rowspan="2">伸縮調整目地(mm)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>クリア</th> <th>乳白</th> <th>平積み</th> <th>曲面積み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・正方形</td> <td>・125×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※8~15</td> <td>外側</td> <td rowspan="4">※6m以下ごとに10~25 ・図示 ・</td> <td rowspan="4">※無し ・有り</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95 ・125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・15~25</td> <td>※15以下 ・</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95 ・125</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>内側 ※6以上 ・</td> </tr> <tr> <td>・320×320</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・長方形</td> <td>・250×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ※図示 ・) ・設けない</p> <p>カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・ 寸法 ※径5.5mm ・ 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・</p> <p>化粧目地モルタルの色() 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 ・ 形状 ・図示 ・</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・</p>	表面形状	呼び寸法	厚さ	色調		目地幅(mm)		伸縮調整目地(mm)	防火性能	クリア	乳白	平積み	曲面積み	・正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※6m以下ごとに10~25 ・図示 ・	※無し ・有り	・160×160	・95 ・125	・	・	・15~25	※15以下 ・	・200×200	・95 ・125	・	・	・	内側 ※6以上 ・	・320×320	95	・	・	・	・	・長方形	・250×125	80	・	・	・	・	・	・	・320×160	95	・	・	・	・	・	・
表面形状	呼び寸法	厚さ				色調		目地幅(mm)				伸縮調整目地(mm)	防火性能																																														
			クリア	乳白	平積み	曲面積み																																																					
・正方形	・125×125	80	・	・	※8~15	外側	※6m以下ごとに10~25 ・図示 ・	※無し ・有り																																																			
	・160×160	・95 ・125	・	・	・15~25	※15以下 ・																																																					
	・200×200	・95 ・125	・	・	・	内側 ※6以上 ・																																																					
	・320×320	95	・	・	・	・																																																					
・長方形	・250×125	80	・	・	・	・	・	・																																																			
	・320×160	95	・	・	・	・	・	・																																																			
19	ガラス用フィルム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ガラス飛散防止フィルム</td> <td>GS</td> <td>※内張り ・外張り</td> <td>飛散防止率D1</td> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759 による</p>	名称	種類	張り面	性能値	・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り ・外張り	飛散防止率D1	・日射調整フィルム																																																
名称	種類	張り面	性能値																																																								
・ガラス飛散防止フィルム	GS	※内張り ・外張り	飛散防止率D1																																																								
・日射調整フィルム																																																											

章	項目	特記事項																																																																																					
6 内装改修工事	1 改修範囲	<p style="text-align: right;">[6. 1. 3]</p> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・ 図示																																																																																					
	2 既存床の撤去並びに下地補修	<p style="text-align: right;">[6. 2. 2]</p> ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（※図示の範囲 ・ 除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4 章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・																																																																																					
	3 既存壁の撤去並びに下地補修	<p style="text-align: right;">[6. 3. 2]</p> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書 4. 4. 9 によるモルタル塗り （塗り厚 25mm を超える場合の補修 ※行う ・ 行わない） ・ 図示																																																																																					
	4 木下地等の表面仕上げ	<p style="text-align: right;">[6. 5. 1]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">表面仕上げの種類別</th> <th style="width: 50%;">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D 種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面仕上げの種類別	適用箇所	・ A 種		※B 種		・ C 種		・ D 種																																																																												
	表面仕上げの種類別	適用箇所																																																																																					
・ A 種																																																																																							
※B 種																																																																																							
・ C 種																																																																																							
・ D 種																																																																																							
5 製材	<p style="text-align: right;">[6. 5. 2]</p> ・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2 級・</td> <td></td> <td>※A 種・B 種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2 級・</td> <td></td> <td>※A 種・B 種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2 級・</td> <td></td> <td>※A 種・B 種・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A 種・B 種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1 等・</td> <td></td> <td>※A 種・B 種・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1 等・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1 等・</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・ 「製材の日本農林規格」以外の製材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>造作材の材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>() 造作材の場合 (※A 種・B 種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A 種 ・B 種 ・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・ 代用樹種を適用できない箇所 ()	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2 級・		※A 種・B 種・	・				※2 級・		※A 種・B 種・	・				※2 級・		※A 種・B 種・	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用						※A 種・B 種 ・	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※1 等・		※A 種・B 種・	・				※1 等・			・				※1 等・			・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A 種 ・B 種 ・	・
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
			※2 級・		※A 種・B 種・	・																																																																																	
			※2 級・		※A 種・B 種・	・																																																																																	
			※2 級・		※A 種・B 種・	・																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
					※A 種・B 種 ・	・																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
			※1 等・		※A 種・B 種・	・																																																																																	
			※1 等・			・																																																																																	
			※1 等・			・																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																
			() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A 種 ・B 種 ・	・																																																																																

章	項目	特記事項																												
6	6 造作用集成材	[6.5.2]																												
		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用				※1等	・				※1等	・				※1等	・								
		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用																								
					※1等	・																								
					※1等	・																								
					※1等	・																								
		・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用						※1等	・						※1等	・						※1等	・
		施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用																						
							※1等	・																						
							※1等	・																						
					※1等	・																								
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用						・						・						・						
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用																									
					・																									
					・																									
					・																									
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※A種・B種	・					※A種・B種	・					※A種・B種	・						
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																									
				※A種・B種	・																									
				※A種・B種	・																									
				※A種・B種	・																									
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※A種・B種	・														
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																							
						※A種・B種	・																							
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用							※A種・B種	・														
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																							
						※A種・B種	・																							
7	7 造作用単板積層材	[6.5.2]																												
		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	・																		
		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																								
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	・																										
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※14%以下</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																		
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																									
		・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級:)	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																									

章	項目	特記事項																																																								
6 内装改修工事	8 床板張り用合板等	[6. 5. 2] ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・普通合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防災処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数比</th> <th>難燃処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>・C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する () ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P 又は M</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防災処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	難燃処理	強度等級	間伐材等の適用		※12	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	・C-D以上		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	間伐材等の適用		※15		※13タイプ	※P 又は M	・	施工箇所	厚さ (mm)	等級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級
	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防災処理	間伐材等の適用																																																	
		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																																																	
	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	難燃処理	強度等級	間伐材等の適用																																																
		※12	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	・C-D以上		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・																																																
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	間伐材等の適用																																																				
		※15		※13タイプ	※P 又は M	・																																																				
	施工箇所	厚さ (mm)	等級																																																							
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																							
		9 接着剤	[6. 5. 3] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4, 5] 接着に含まれる可塑性は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外																																																							
	10 防腐・防蟻処理	[6. 5. 5] ・防腐, 防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: () ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table> ・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる</td> </tr> </tbody> </table> ・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理 適用部位: ()	適用部位	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部位	処理の方法		※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる		※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる		※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる																																								
適用部位	保存処理性能区分																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																									
適用部位	処理の方法																																																									
	※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる																																																									
	※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる																																																									
	※改修標準仕様書 6. 5. 5 (a) (iii) 7~Iによる																																																									

章	項目	特記事項																											
6 内装改修工事	11 軽量鉄骨天井下地	[6.6.2~4] 野縁等の種類 屋外 (※25形 ・ 19形) 屋内 (※19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井, ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない 野縁受, 吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 ・ 野縁の間隔 ・ 図示 ・ 既存の埋込インサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う (屋外の試験荷重:) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が 900mm を超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・ 天井のふところ 1.5m 以上 3.0m 以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書 6.6.4(h) (1)~(2)による ・ ・ 天井のふところ 3.0m を超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・ 図示 ・ 補強方法 ※図示 ・																											
	12 軽量鉄骨壁下地	[6.7.3] [表 6.7.1] スタッド, ランナーの種類 ※改修標準仕様書表 6.7.3 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ スタッドの高さが 5.0m を超える場合 ※図示 ・																											
	13 ビニル床シート	[6.8.2, 3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ マーブル柄</td> <td>・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性</td> <td>※2.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 発泡層のあるもの</td> <td>・</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 防滑性 ・ 耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10}$ Ω 程度 ・	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		・ 無地 ・ マーブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性	※2.0 ・		・ 発泡層のあるもの	・		・ 無地 ・ 柄物	・ 防滑性 ・ 耐薬品性								
	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																						
※発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		・ 無地 ・ マーブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性	※2.0 ・																								
・ 発泡層のあるもの	・		・ 無地 ・ 柄物	・ 防滑性 ・ 耐薬品性																									
14 ビニル床タイル	[6.8.2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>JIS の記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ KT (コンポジションビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・ 2.0 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10}$ Ω 程度 ・ 防滑性 ・	JIS の記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		・ KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0		・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・	
JIS の記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																							
・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0																								
・ KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0																								
・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・																								

章	項目	特記事項																																																																								
6 内装 改修 工事	15 ビニル幅木	[6.8.2] 材質 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 厚さ(mm) ※1.5以上 ・																																																																								
	16 ゴム床タイル	[6.8.2] 色柄 () 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) ()																																																																								
	17 カーペット敷き	[6.9.3~4] [表6.9.1] ・織じゅうたん <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・カットパイル</td> <td>・ウルトンカーペット</td> <td>・無地</td> <td>・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・ループパイル</td> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・柄物 (標準品)</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・カット, ループ併用</td> <td>・アキスミスターカーペット</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>※5~7 ・</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>※4~6 ・</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レベループパイル</td> <td>.4 ・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット, ループ併用</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) () 帯電性 ・適用する(性能:※人体帯電圧3kv以下 ・) ・適用しない 備考 () ・タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 ・</td> <td>※6.5 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 ・</td> <td>※6.5 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット, ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500 ・</td> <td>※6.5 ・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り, 押え金物 ・適用する(材質, 形状等 ※図示 ・) ・適用しない</p>	種別	種類	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カットパイル	・ウルトンカーペット	・無地	・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)		・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)	・適用しない		・C種	・カット, ループ併用	・アキスミスターカーペット				パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	※5~7 ・	※全面接着工法	・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)		・ループパイル	※4~6 ・	・グリッパー工法	・適用しない		・レベループパイル	.4 ・				・カット, ループ併用	・				パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・		・カット, ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・
種別	種類	織り方	色柄等	帯電性	備考																																																																					
・A種	・カットパイル	・ウルトンカーペット	・無地	・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)																																																																						
・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)	・適用しない																																																																						
・C種	・カット, ループ併用	・アキスミスターカーペット																																																																								
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																						
・カットパイル	※5~7 ・	※全面接着工法	・適用する (性能:※人体帯電 圧3kv以下 ・)																																																																							
・ループパイル	※4~6 ・	・グリッパー工法	・適用しない																																																																							
・レベループパイル	.4 ・																																																																									
・カット, ループ併用	・																																																																									
パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																																																																					
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																						
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																						
・カット, ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・																																																																						

章	項目	特記事項																																																
6 内装改修工事	18 合成樹脂塗床	[6.10.2~3]																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 珪酸樹脂塗床材</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪酸工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)</td> <td></td> <td></td> <td>工程 塗布量(kg/m²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・ 防滑 溶剤 ・水性色 ・ 溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・</td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 珪酸樹脂塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪酸工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材				・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量(kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・ 防滑 溶剤 ・水性色 ・ 溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・																												
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																															
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																															
・厚膜型塗床材 珪酸樹脂塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂珪酸工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																															
・薄膜型塗床材																																																		
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量(kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・ 防滑 溶剤 ・水性色 ・ 溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・																																															
		塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外																																																
	19 フローリング張り	[6.11.2~7]																																																
		単層フローリング																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>大きさ</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材 等の 適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・フローリング ボード</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※なら ・</td> <td>15</td> <td>板幅 75 板長さ 500 以上</td> <td rowspan="3">・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td>※なら ・</td> <td>・12 以上 ・</td> <td>板幅 75 板長さ 300 以上</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>・12 以上 ・</td> <td>板幅 75 板長さ 300 以上</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フローリング ブロック</td> <td>・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td rowspan="2">・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・珪酸埋込 工法</td> <td>※なら ・</td> <td>※15 ・</td> <td>※303×303 ・</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ギャップ パケット</td> <td>接着工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・塗装品 ・無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材 等の 適用	・フローリング ボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・	15	板幅 75 板長さ 500 以上	・塗装品 ・無塗装品	・	・釘留め工法 (直張り)	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 300 以上	・	・接着工法	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 300 以上	・	・フローリング ブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・	・珪酸埋込 工法	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・	・ギャップ パケット	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・				
種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材 等の 適用																																												
・フローリング ボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・	15	板幅 75 板長さ 500 以上	・塗装品 ・無塗装品	・																																												
	・釘留め工法 (直張り)	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 300 以上		・																																												
	・接着工法	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 300 以上		・																																												
・フローリング ブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・																																												
	・珪酸埋込 工法	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・		・塗装品 ・無塗装品	・																																											
・ギャップ パケット	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・																																												
		天然木化粧複合フローリング																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ/ 大きさ (mm)</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材 等の 適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・複合1種 フローリング ・複合2種 フローリング ・複合3種 フローリング</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td rowspan="2">※なら ・</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="2">・A種 ・B種 ※C種</td> <td rowspan="3">・適用する ・適用しない</td> <td rowspan="3">・塗装品 ・無塗装品</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※なら ・</td> <td>板厚 ・8 以上・ 板幅 ・75 以上 板長さ 900 以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	工法	樹種	厚さ/ 大きさ (mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材 等の 適用	・複合1種 フローリング ・複合2種 フローリング ・複合3種 フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・	/	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・	・釘留め工法 (直張り)	・接着工法	※なら ・	板厚 ・8 以上・ 板幅 ・75 以上 板長さ 900 以上																												
種類	工法	樹種	厚さ/ 大きさ (mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材 等の 適用																																											
・複合1種 フローリング ・複合2種 フローリング ・複合3種 フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・	/	・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・																																											
	・釘留め工法 (直張り)																																																	
	・接着工法	※なら ・	板厚 ・8 以上・ 板幅 ・75 以上 板長さ 900 以上																																															
		フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外																																																
		接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート																																																
		現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所)																																																
		※ウレタン樹脂ワニス塗り																																																
		・オイルステインの上, ワックス塗り																																																
		・生地のままワックス塗り																																																
		・行わない																																																

章	項目	特記事項																																																																																			
6 内装改修工事	20 畳敷き	<p style="text-align: right;">[6.12.2]</p> 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種(畳床： ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書表 12.6.1 による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。																																																																																			
	21 せっこうボード その他ボード張り	<p style="text-align: right;">[6.13.2] [表 6.13.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS記号</th> <th>厚さ(mm), 規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21 ・</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30 ・</td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード 1号</td> <td>RW-B</td> <td>・25 ・</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード 32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25 (ガラスクロス包) ・</td> </tr> <tr> <td>・せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トランプン模様)</td> </tr> <tr> <td>・シージングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・せっこうラボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード (トランプン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td></td> <td>表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツラシ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td></td> <td>樹種名 () 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理</td> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>・JIS K 6903 による (※1.2 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12 ・</td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・</td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (素地)</td> <td>HB</td> <td>・未研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RS</td> </tr> <tr> <td>・ハードボード (化粧)</td> <td>HB</td> <td>・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード</td> <td>IB</td> <td>A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18</td> </tr> </tbody> </table>	種類	JIS記号	厚さ(mm), 規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・	・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25 ・	・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・	・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・	・普通木片セメント板	NF	・30 ・	・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8	・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)	・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25 ・	・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包) ・	・せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)	・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トランプン模様)	・シージングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)	・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	・せっこうラボード	GB-L	9.5	・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り	・化粧せっこうボード (トランプン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)	・普通合板		表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツラシ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理	・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理	・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理	・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903 による (※1.2 ・)	・ポリエステル樹脂化粧板			・ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・	・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・	・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・	・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RS	・ハードボード (化粧)	HB	・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7	・インシュレーションボード	IB
種類	JIS記号	厚さ(mm), 規格等																																																																																			
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																			
・中質木毛セメント板	MW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																			
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・																																																																																			
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・																																																																																			
・普通木片セメント板	NF	・30 ・																																																																																			
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8																																																																																			
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 ・19 ・)																																																																																			
・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25 ・																																																																																			
・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包) ・																																																																																			
・せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・15 (準不燃)																																																																																			
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トランプン模様)																																																																																			
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)																																																																																			
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																			
・せっこうラボード	GB-L	9.5																																																																																			
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材有り																																																																																			
・化粧せっこうボード (トランプン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)																																																																																			
・普通合板		表面の材種 生地、透明塗料塗り (※ツラシ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理																																																																																			
・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理																																																																																			
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 () 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理																																																																																			
・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903 による (※1.2 ・)																																																																																			
・ポリエステル樹脂化粧板																																																																																					
・ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・																																																																																			
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・																																																																																			
・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・																																																																																			
・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンプル) RS																																																																																			
・ハードボード (化粧)	HB	・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																			
・インシュレーションボード	IB	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																			

章	項目	特記事項																																																																								
6 内装改修工事		<p>せっこうボード等の下地は図示による。</p> <p>遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド） ・適用しない</p> <p>合板類, MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・</p> <p>合板類の張付け ※B種 ・A種</p> <p>せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による ・</p>																																																																								
	22 壁紙張り	<p style="text-align: right;">[6. 14. 2~3]</p> <p>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※不燃 ・準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種 ・</p> <p>コンクリート・ALC 面の下地調整 ※RB種 ・</p> <p>せっこうボード面の下地調整 ※RB種 ・</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																												
	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																																																		
		紙	繊維	プラスチック	無機質	その他																																																																				
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																																																				
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																																																				
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																																																				
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																																																				
23 モルタル塗り材料	<p style="text-align: right;">[6. 15. 3, 6]</p> <p>吸水調整材は, 改修工事標準仕様書表 4. 2. 2による。</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ） ・設けない</p> <p>床目地 ・設ける（工法※押し目地 ・ ） ・設けない</p> <p>・防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A 1404による試験）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>混合割合</th> <th>凝結時間</th> <th>曲げ及び圧縮強度比</th> <th>吸水比</th> <th>透水比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメント重量の5%以下</td> <td>JIS R 5201 の試験 8において始発 1時間以上終結 10時間以内</td> <td>70%以上</td> <td>95%以上</td> <td>80%以下 294. 0kPa/h</td> </tr> </tbody> </table>	混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント重量の5%以下	JIS R 5201 の試験 8において始発 1時間以上終結 10時間以内	70%以上	95%以上	80%以下 294. 0kPa/h																																																															
混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																						
セメント重量の5%以下	JIS R 5201 の試験 8において始発 1時間以上終結 10時間以内	70%以上	95%以上	80%以下 294. 0kPa/h																																																																						
24 タイル張り	<p style="text-align: right;">[6. 16. 2~4]</p> <p>伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦, 横とも 4m 以内ごと ・図示 ・ ） 床タイル以外（・図示 ・ ）</p> <p>・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの形状・寸法等 (11. 2. 2, 3, 7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">主な用途による区分</th> <th rowspan="2">形状/寸法 (mm)</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th colspan="2">役物</th> <th colspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施ゆう</th> <th>無ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>・既製調合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして, セメント, 細骨材, 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保水率 (%)</th> <th rowspan="2">単位容積質量 (kg/l)</th> <th colspan="2">接着強さ (N/mm²)</th> <th rowspan="2">長さ変化率 (%)</th> <th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>温冷繰返し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70. 0 以上</td> <td>1. 80 程度</td> <td>0. 60 以上</td> <td>0. 40 以上</td> <td>0. 20 以下</td> <td>4. 0 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>・既製調合目地材</p>	施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考	I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)	標準時	温冷繰返し後	70. 0 以上	1. 80 程度	0. 60 以上	0. 40 以上	0. 20 以下	4. 0 以上
施工箇所	主な用途による区分				形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考																																																								
		I類	II類	III類		施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																												
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																												
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm ²)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm ²)																																																																					
		標準時	温冷繰返し後																																																																							
70. 0 以上	1. 80 程度	0. 60 以上	0. 40 以上	0. 20 以下	4. 0 以上																																																																					

章	項目	特記事項															
6 内装改修工事		・接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの形状・寸法等															
		施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考
					I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無	
				
				
標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない 内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・																	
25	セルフレベリング材塗													[6.17.2~3]			
		種類	・せっこう系		・セメント系												
		塗厚(mm)	.														

章	項目	特記事項																																							
7 塗装改修工事	1 材料	[7.1.3] 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 防火材料 ※屋内の壁, 天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)																																							
	2 下地調整	[7.2.2~7] 塗替え RB 種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の 30% 図示 下地調整 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※RB 種</td> <td>RC 種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>珪藻土, プラスター面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面</td> <td>※RB 種</td> <td>RA 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(OP), 押出成形乾式板面</td> <td>・</td> <td>RA 種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及び その他ボード面</td> <td>※RB 種</td> <td>・ RA 種 ・ RB 種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・	鉄鋼面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種		亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RB 種	RC 種		珪藻土, プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・行う ・行わない	コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・行う ・行わない	コンクリート面(OP), 押出成形乾式板面	・	RA 種	・行う ・行わない	せっこうボード面及び その他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—	
	下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																					
塗替え		新規																																							
木部	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・																																						
鉄鋼面	※RB 種	RA 種																																							
亜鉛めっき面	※RB 種	RA 種																																							
亜鉛めっき面(鋼製建具)	※RB 種	RC 種																																							
珪藻土, プラスター面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	・行う ・行わない																																						
コンクリート面(OP 以外), ALCパネル面	※RB 種	RA 種	・行う ・行わない																																						
コンクリート面(OP), 押出成形乾式板面	・	RA 種	・行う ・行わない																																						
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB 種	・ RA 種 ・ RB 種	—																																						
3 錆止め塗料塗り	[7.3.2~3] 錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td rowspan="3">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>A 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A 種</td> <td>※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>B 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>B 種</td> <td>※B 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">亜鉛めっき面</td> <td rowspan="2">EP-G 以外</td> <td>塗替え</td> <td>※A 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A 種</td> <td>※A 種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C 種</td> <td>※C 種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C 種</td> <td>※A 種</td> </tr> </tbody> </table>	塗装面		塗料	工程	鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	A 種	※A 種	新規見え隠れ	A 種	※B 種	EP-G	塗替え	B 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	B 種	※A 種	新規見え隠れ	B 種	※B 種	亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	※A 種	※A 種	EP-G	塗替え	C 種	※C 種	新規鉄鋼面見え掛り	C 種	※A 種
塗装面		塗料	工程																																						
鉄鋼面	EP-G 以外	塗替え	A 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	A 種	※A 種																																					
		新規見え隠れ	A 種	※B 種																																					
	EP-G	塗替え	B 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	B 種	※A 種																																					
		新規見え隠れ	B 種	※B 種																																					
亜鉛めっき面	EP-G 以外	塗替え	※A 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	※A 種	※A 種																																					
	EP-G	塗替え	C 種	※C 種																																					
		新規鉄鋼面見え掛り	C 種	※A 種																																					

章	項目	特記事項					
7 塗装改修工事	4 塗装						
				工程			
				塗替え	新規		
		・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗装の種別 ※1種・2種	木部屋外	※B種	・	※A種	・
			木部屋内	※B種	・	※B種	・
			鉄鋼面	※B種	・	※B種	・A種
			亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	・	※B種	・
			亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	・	※B種	・
		・フッ素樹脂塗料 (CL)		※B種	・A種	※B種	・A種
		・フッ素樹脂エマルジョン塗料 (FE)		-		-	
		・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種	・A種	※B種	・A種
		・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級	・		A種	
			亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	・		A種	
			コンクリート面及び押出成形セメント板面	・		・	
		・つや有合成樹脂 エマルジョンペイント 塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	・	※B種	・A種
			屋内の木部	※B種	・	※A種	・
			屋内の鉄鋼面	※B種	・	※B種	・A種
			屋内の亜鉛めっき鋼面	※B種	・	※B種	・A種
		・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・	※B種	・
		・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種	・	※B種	・A種
		・ウレタン樹脂ニス塗り (UC)		※B種	・A種	※B種	・A種
		・ラッカーエマルジョン塗り (LE)		※B種	・A種	※B種	・A種
		・オキシイン塗り (OS)		-			
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種	・A種	※B種	・A種		
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート, モルタル面, プラスター面, せっこうボード面, その他ボード面) の塗替えの場合のしみ止め							
※改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする							
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め							
※改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしみ止めシーラーとする							
・高日射反射塗料塗り							
下地調整 (改修標準仕様書表 7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種							
工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m ²)		
	規格番号	規格名称	種類	等級			
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性 屋根用塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の 仕様による		

章	項目	特記事項																			
8 耐震改修工事	<一般事項> 1 適用範囲	[8. 1. 1] ※改修標準仕様書 8. 1. 1 適用範囲に定める工事内容 ・改修標準仕様書 8. 1. 1 適用範囲に定めるもの以外の工事内容																			
	<鉄筋> 2 鉄筋の種類	[8. 2. 1] [表 8. 2. 1] <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格の名称</th> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>・SD295A</td> <td>※D16 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・SD295A	※D16 以下		・SD345	※D19 以上									
	規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所																	
	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・SD295A	※D16 以下																		
		・SD345	※D19 以上																		
3 溶接金網	形状等 [8. 2. 2] <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状, 寸法, 鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類の記号	網目の形状, 寸法, 鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子											
種類	種類の記号	網目の形状, 寸法, 鉄線の径 (mm)	使用部位																		
・溶接金網																					
・鉄筋格子																					
4 鉄筋の継手	継手方法 [8. 3. 4] <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>継手方法と適用径の範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・柱主筋</td> <td>・ガス圧接 (D19 以上) ・</td> </tr> <tr> <td>・梁主筋</td> <td>・ガス圧接 (D19 以下) ・</td> </tr> <tr> <td>・耐力壁</td> <td>・重ね継手 ・</td> </tr> <tr> <td>・基礎スラブ, 耐圧スラブ等, 土圧壁など</td> <td>・ガス圧接 () ・重ね継手 ()</td> </tr> </tbody> </table> 鉄筋の継手位置 [8. 3. 4] [表 8. 3. 2] [表 8. 3. 3] ・図示 ・ 重ね継手 主筋及び耐力壁の重ね長さ ・図示 ・改修標準仕様書表 8. 3. 2 による	適用箇所	継手方法と適用径の範囲	・柱主筋	・ガス圧接 (D19 以上) ・	・梁主筋	・ガス圧接 (D19 以下) ・	・耐力壁	・重ね継手 ・	・基礎スラブ, 耐圧スラブ等, 土圧壁など	・ガス圧接 () ・重ね継手 ()										
適用箇所	継手方法と適用径の範囲																				
・柱主筋	・ガス圧接 (D19 以上) ・																				
・梁主筋	・ガス圧接 (D19 以下) ・																				
・耐力壁	・重ね継手 ・																				
・基礎スラブ, 耐圧スラブ等, 土圧壁など	・ガス圧接 () ・重ね継手 ()																				
5 帯筋	組立の形 [8. 3. 4] ・図示 ・																				
6 鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さ (目地底からの算出を行う) [8. 3. 5] [表 8. 3. 6] ※改修標準仕様書表 8. 3. 6 による ・図示 ・ 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さ ・最小かぶり厚さ () mm 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分 (耐久性上不利な部分) ・無し ・有り 適用箇所 () ・改修標準仕様書表 8. 3. 6 に加える厚さ () mm ・																				

章	項目	特記事項												
8 耐震 改修 工事	7 圧接完了後の試験	<ul style="list-style-type: none"> ・超音波探傷試験 [8.3.8] (5.4.9) (5.4.10) 箇所数 <ul style="list-style-type: none"> ・全圧接部 適用箇所 ・図示 ・標準仕様書 5.4.9(2)(i)による箇所数 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・引張試験 (5.4.9) (5.4.10) 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 												
	<コンクリート> 8 コンクリートの種類 及び品質	コンクリートの種別 [8.1.3] [8.1.4] [表8.1.1] ※Ⅰ類（茨城県の指定工場であること） ・Ⅱ類 ※普通コンクリート <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th style="width: 20%;">気乾単位 容積質量 (t/m³)</th> <th style="width: 20%;">スランプ (cm)</th> <th style="width: 45%;">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※24</td> <td>2.3 程度</td> <td>15 又は 18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・18 ・21</td> <td>2.3 程度</td> <td>15 又は 18</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所	※24	2.3 程度	15 又は 18		・18 ・21	2.3 程度	15 又は 18	
	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	スランプ (cm)	適用箇所										
	※24	2.3 程度	15 又は 18											
	・18 ・21	2.3 程度	15 又は 18											
9 コンクリートの 仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4] [8.2.7] [表8.1.3] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種別</th> <th style="width: 70%;">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	・A種		・B種		・C種						
種別	適用箇所													
・A種														
・B種														
・C種														
10 コンクリートの材料 及び調合	セメントの種類 [8.2.5] [表8.2.3] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">セメントの種類</th> <th style="width: 50%;">適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通ポルトランドセメント又は 混合セメントのA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種 ・フライッシュセメントB種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">水和熱</th> <th style="width: 30%;">7日</th> <th style="width: 40%;">352J/g 以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>28日</td> <td>402J/g 以下</td> </tr> </tbody> </table> 使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 [8.2.5] ※A ・B（コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m 以下）	セメントの種類	適用箇所	・普通ポルトランドセメント又は 混合セメントのA種		・高炉セメントB種 ・フライッシュセメントB種		水和熱	7日	352J/g 以下		28日	402J/g 以下	
セメントの種類	適用箇所													
・普通ポルトランドセメント又は 混合セメントのA種														
・高炉セメントB種 ・フライッシュセメントB種														
水和熱	7日	352J/g 以下												
	28日	402J/g 以下												
11 混和材料	[8.2.5] [8.5.8] <ul style="list-style-type: none"> ・混和剤（JIS A 6204に適合するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はⅠ種とする。 また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。） ・混和材（JIS A 6201によるフライアッシュのⅠ類又はⅡ類若しくはⅣ種、JIS A 6206による高炉スラグ微粉末、又はJIS A 6207によるシリカフェーム JIS A 6202による膨張材とする。） 													

章	項目	特記事項																						
8 耐震改修工事	12 モルタル及びグラウト材	<p>・構造用モルタル材料 [8.2.11]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書 [8.2.5] <p>圧縮強度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>フロー値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示 <p>・グラウト材</p> <p>無収縮グラウト材の材質等</p> <table border="1" data-bbox="531 488 1461 734"> <tr> <td>混和剤</td> <td>セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td>土木学会コンクリート標準示法書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない</td> </tr> </table> <p>無収縮グラウトの品質及び試験方法</p> <table border="1" data-bbox="531 768 1461 1294"> <tr> <td>コンスタンシー</td> <td>J-ロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</td> </tr> <tr> <td>ブリージング</td> <td>練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結時間</td> <td>凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内</td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>材齢7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度</td> <td>材齢3日 20.0N/mm²以上 材齢28日 40.0N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>付着強度</td> <td>材齢28日 2.5N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>0.30kg/m³以下</td> </tr> <tr> <td>試験方法</td> <td>1) NEXCO 試験方法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</td> </tr> </table>	混和剤	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。	セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示法書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない	コンスタンシー	J-ロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒	ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内	無収縮性	材齢7日 収縮しない	圧縮強度	材齢3日 20.0N/mm ² 以上 材齢28日 40.0N/mm ² 以上	付着強度	材齢28日 2.5N/mm ² 以上	塩化物量	0.30kg/m ³ 以下	試験方法	1) NEXCO 試験方法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。
	混和剤	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。																						
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。																							
砂	土木学会コンクリート標準示法書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない																							
コンスタンシー	J-ロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒																							
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下																							
凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内																							
無収縮性	材齢7日 収縮しない																							
圧縮強度	材齢3日 20.0N/mm ² 以上 材齢28日 40.0N/mm ² 以上																							
付着強度	材齢28日 2.5N/mm ² 以上																							
塩化物量	0.30kg/m ³ 以下																							
試験方法	1) NEXCO 試験方法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。なお、プレックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。																							
13 型枠	<p>せき板の材料 [8.2.7]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合板 コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議すること ・床型枠用鋼製デッキプレート <p>スリーブの材質 [8.2.7] [表 8.2.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修標準仕様書 8.2.6(f) (2) 及び改修標準仕様書表 8.2.6による <p>打増し厚さ [8.7.8]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） <ul style="list-style-type: none"> ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） <ul style="list-style-type: none"> ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 <ul style="list-style-type: none"> ・20mm <p>打増し範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示（床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し部に限る。） 																							

章	項目	特記事項												
8 耐震 改修 工事	14 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類 (6. 14. 1～3)</p> <p>※普通コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※18</td> <td>※15 又は 18</td> <td>※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントの A 種</td> <td>・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※高炉セメント B 種 ・フライッシュセメント B 種</td> <td>・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎</td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ (cm)	セメントの種類	適用箇所	※18	※15 又は 18	※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントの A 種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎	・	・	※高炉セメント B 種 ・フライッシュセメント B 種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎
	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	スラブ (cm)	セメントの種類	適用箇所										
	※18	※15 又は 18	※普通ポルトランドセメント 又は混合セメントの A 種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎										
	・	・	※高炉セメント B 種 ・フライッシュセメント B 種	・捨てコンクリート 保護コンクリート ・設備基礎										
	<あと施工アンカー> 15 あと施工アンカーの材料	<p>あと施工アンカーの材料 [8. 2. 4] [表 8. 2. 1]</p> <p>・金属系アンカー (耐震補強用)</p> <p>※接着系アンカー</p> <p>アンカーの種類 ※カプセル型回転・打撃式</p> <p>接着剤の品質 ※有機系 ・無機系</p> <p>アンカー筋の種類 ・改修標準仕様書 8. 2. 1 の異形棒鋼 ・全ねじボルト</p>												
	16 あと施工アンカーの穿孔	<p>穿孔前の既存鉄筋および埋込み配管・配線等の探査 [8. 11. 2]</p> <p>範囲 ・図示</p> <p>※あと施工アンカー施工範囲全て</p> <p>方法 ※穿孔前に電磁波レーダー法又は電磁波誘導法による既存鉄筋および埋設配管・配線等の探査を行い、位置の墨出を行う</p> <p>・はつり出しによる</p> <p>穿孔機械 (金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する)</p> <p>※ハンマードリル</p> <p>・コアドリル</p> <p>既存コンクリートの不良箇所の確認</p> <p>※アンカー施工部位の既存コンクリートは目荒らし後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督員と協議すること。</p>												
	17 あと施工アンカーの施工確認試験	<p>試験方法 [8. 11. 5]</p> <p>・引張試験</p> <p>・</p> <p>確認強度</p> <p>・図示</p> <p>・</p>												
	<鉄骨> 18 鉄骨製作工場	<p>製作工場の加工能力 [8. 1. 5]</p> <p>※建築基準法第 77 条の 45 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可をうけた (株) 日本鉄骨評価センター及び (株) 全国鉄骨評価機構 (旧 (社) 全国鐵構工業協会) の「鉄骨製作場の性能評価基準」に定める「() グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場長又は同等以上の能力のある工場</p> <p>・監督員の承諾する製作工場</p> <p>施工管理技術者</p> <p>※適用する</p> <p>・適用しない</p>												
19 縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等	<p>高力ボルト, 普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離, ボルト間隔, [8. 1. 6]</p> <p>ボルト径, ゲージ等</p> <p>※図示</p> <p>・</p>													
20 入熱, パス間温度の溶接条件	<p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件</p> <p>・図示</p> <p>・</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示</p> <p>・柱, 梁, ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p>													

章	項目	特記事項																					
8 耐震改修工事	21 鋼材	鋼材の材質 [8. 2. 8] [表 8. 2. 7]																					
		種類の記号	適用箇所																				
			規格等																				
			※JIS 規格による																				
			※JIS 規格による																				
			※JIS 規格による																				
	22 高力ボルト	区分 [8. 2. 9] <ul style="list-style-type: none"> ・トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS 形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 <ul style="list-style-type: none"> ※図示 すべり係数試験 [8. 13. 2] <ul style="list-style-type: none"> ※行わない ・行う 																					
	23 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 (7. 2. 2) <ul style="list-style-type: none"> ・1種 (F8T 相当) 摩擦面の処理 (7. 12. 4) <ul style="list-style-type: none"> ※ブラスト処理 (表面粗度 50μmRz 以上) 摩擦面の確認方法 <ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・試験片によるすべり耐力試験 																					
	24 溶接接合	スクラップの形状 [8. 14. 7] <ul style="list-style-type: none"> ・改良型 エンドタブの切除 <ul style="list-style-type: none"> ・行なう 適用箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・全て ・図示 ・行わない 																					
	25 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8. 14. 11~12] <ul style="list-style-type: none"> ※行う 																					
	26 錆止め塗装	塗装の種別 [8. 16. 2] [8. 16. 3] [7. 3. 2] [表 7. 3. 1] [表 7. 3. 2] 鉄鋼面 <table border="1" data-bbox="528 1312 1461 1444"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・改修標準仕様書表 7. 3. 1A 種</td> <td>・屋外 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)</td> </tr> <tr> <td>・改修標準仕様書表 7. 3. 1B 種</td> <td>・屋内 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 亜鉛めっき面 <table border="1" data-bbox="528 1480 1461 1576"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・改修標準仕様書表 7. 3. 2 A 種</td> <td>・屋外, 屋内</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> 鋼製スリーブの内側 (鉄骨に溶接されたもの) <table border="1" data-bbox="528 1612 1461 1709"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・改修標準仕様書表 7. 3. 1 A 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		種別	適用箇所	・改修標準仕様書表 7. 3. 1A 種	・屋外 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)	・改修標準仕様書表 7. 3. 1B 種	・屋内 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)	・	・	種別	適用箇所	・改修標準仕様書表 7. 3. 2 A 種	・屋外, 屋内	・	・	種別	適用箇所	・改修標準仕様書表 7. 3. 1 A 種	・	・	・
種別	適用箇所																						
・改修標準仕様書表 7. 3. 1A 種	・屋外 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)																						
・改修標準仕様書表 7. 3. 1B 種	・屋内 (改修標準仕様書 8. 16. 2 の範囲以外)																						
・	・																						
種別	適用箇所																						
・改修標準仕様書表 7. 3. 2 A 種	・屋外, 屋内																						
・	・																						
種別	適用箇所																						
・改修標準仕様書表 7. 3. 1 A 種	・																						
・	・																						

章	項目	特記事項																									
8 耐震改修工事	27 耐火被覆材	種別等 (7.9.2~7) [8.17.2]																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材巻付け</td> <td>・高耐熱ロックール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール		・半乾式吹付けロックール		・湿式ロックール		・		・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		・		・耐火材巻付け	・高耐熱ロックール		・		・ラス張りモルタル塗り	—	
		種別	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)																							
		・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックール																								
			・半乾式吹付けロックール																								
			・湿式ロックール																								
			・																								
		・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																								
			・																								
		・耐火材巻付け	・高耐熱ロックール																								
・																											
・ラス張りモルタル塗り	—																										
材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。																											
性能																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3時間耐火</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		性能	適用箇所 (部位・部分)	・30分耐火		・1時間耐火		・2時間耐火		・3時間耐火																	
性能	適用箇所 (部位・部分)																										
・30分耐火																											
・1時間耐火																											
・2時間耐火																											
・3時間耐火																											
28 アンカーボルト	適用 (7.2.4) (表7.2.3) (7.10.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・構造用アンカーボルト <ul style="list-style-type: none"> ・JSS II 13-2004 ABR400 ・JSS II 13-2004 ABR490 ・ ・建方用アンカーボルト 																									
		材質																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・SS400 																									
		アンカーボルト及びナットのねじ種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書 表 7.2.3 による ・ 																									
		保持及び埋込み工法 (7.10.3) (表 7.10.1)																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・構造用 ※図示 ・建方用 																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書表 7.10.1 (・A種 ・B種 ・C種) による ・ 																									
		29 柱底均しモルタル	モルタルの種別 (7.2.9) (7.10.3) (表 7.10.1) [8.2.10]	<ul style="list-style-type: none"> ・無収縮モルタル ・ 																							
				圧縮強度																							
<ul style="list-style-type: none"> ・図示 ・ 																											
無収縮モルタルの材料及び調合																											
材料、調合等 <ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書 7.2.9 による ・ 																											
品質及び試験方法																											
<ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書表 7.2.6 による ・ 																											
工法の種別																											
<ul style="list-style-type: none"> ・標準仕様書表 7.10.2 ・A種 (モルタル厚さ 50) ・B種 (モルタル厚さ 30) 																											
30 スタッドボルト	(7.2.5)			<table border="1"> <thead> <tr> <th>径(呼び名)</th> <th colspan="4">長さ(呼び長さ)mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16φ</td> <td>・80</td> <td>・100</td> <td>・120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・80</td> <td>・100</td> <td>・130</td> <td>・150</td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・80</td> <td>・100</td> <td>・130</td> <td>・150</td> </tr> </tbody> </table>	径(呼び名)	長さ(呼び長さ)mm				適用箇所	16φ	・80	・100	・120		19φ	・80	・100	・130	・150	22φ	・80	・100	・130	・150		
		径(呼び名)	長さ(呼び長さ)mm				適用箇所																				
		16φ	・80	・100	・120																						
		19φ	・80	・100	・130	・150																					
		22φ	・80	・100	・130	・150																					

章	項目	特記事項										
8 耐震改修工事	31 溶融亜鉛めっき	種別等 (7.12.3) (表 14.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>亜鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種 (HDZ55)</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼, 鋼板</td> <td rowspan="3">※図示 ・</td> </tr> <tr> <td>B種 (HDZ45)</td> <td>最小板厚 3.2mm 以上, 6.0mm 未満の形鋼, 鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種 (HDZ35)</td> <td>普通ボルト・ナット類, アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上, 3.2mm 未満の形鋼, 鋼板</td> </tr> </tbody> </table> 外観検査 ・行う ・行わない めっき付着量の検査 ・行う ・行わない	亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所	A種 (HDZ55)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼, 鋼板	※図示 ・	B種 (HDZ45)	最小板厚 3.2mm 以上, 6.0mm 未満の形鋼, 鋼板	C種 (HDZ35)	普通ボルト・ナット類, アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上, 3.2mm 未満の形鋼, 鋼板
	亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所									
	A種 (HDZ55)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼, 鋼板	※図示 ・									
	B種 (HDZ45)	最小板厚 3.2mm 以上, 6.0mm 未満の形鋼, 鋼板										
	C種 (HDZ35)	普通ボルト・ナット類, アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上, 3.2mm 未満の形鋼, 鋼板										
	32 製作精度	(7.3.3) ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則 6〔鉄骨精度検査基準〕による。 ※通しダイアフラムの許容誤差 ・全てのダイアフラムは H12 建告第 1464 号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ダイアフラムを H12 建告第 1464 号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認あり 補強方法 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・										
	<耐震> 33 既存部分の処理	適用範囲 [8.19.3] [8.20.3] [8.21.3] ※既存コンクリートとの打継ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面 ・ 既存コンクリートの目荒らしの範囲 ・平均深さ 2~5mm (最大 7mm) 程度の凹面を, 全体にわたってつける。 ・ 既存コンクリートの目荒しの程度 ・既存柱, 梁面 打継ぎ面の 15~30%程度 ・既存壁 打継ぎ面の 10~15%程度 ・										
	34 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	コンクリートの打込み工法の種類 [8.19.8] [8.21.5] ・流込み工法 ・圧入工法										
35 柱補強	・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.21.5] ・鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8.21.6] ・連続繊維補強工法 [8.21.7]											
36 連続繊維シート巻き	材料・形状 [8.2.12] 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度 (含浸硬化後) ・2500N/mm ² 以上 ・3000N/mm ² 以上 ヤング係数 (含浸硬化後) ・2.35×10 ⁹ N/mm ² 程度 ・2.35×10 ⁹ N/mm ² 以上 工法 [8.21.7] ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類 [8.21.7] ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充鎮工法 ・シール工法 柱の隅角分の面取り [8.21.7] ※工法の評価内容による											
37 スリットの施工	スリット部の配管等の探査 [8.22.2] ※探査器により探査し, 配管等の位置の墨出を行う ・はつり出し											

章	項目	特記事項																																																																																
9 環境配慮改修工事	1 アスベスト含有建材の処理工事	<p style="text-align: right;">[9.1.1, 3~5]</p> <p>施工調査 ※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督員に報告する。 調査範囲（ ・ 図示 ） 貸与条件（ ） ・分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト 分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</p> <table border="1" data-bbox="529 622 1460 801"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数（ ）</td> <td>・箇所数（ ）</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1" data-bbox="529 943 1524 1368"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各処理作業室ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td rowspan="4">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキリイゾーン入口</td> <td>・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>・集じん・排気装置各1点 ・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td rowspan="2">処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・4方向各1点・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td rowspan="2">処理作業後 シート 撤去後1週間以降</td> <td>処理作業室内</td> <td>・（ ）点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定10</td> <td>調査作業室外部の付近</td> <td>・（ ）点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 測定5のみ ※パネチクルカウンター、粉じん相対温度計(ゲジメル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(リアルタイムファイバーモニター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定 ・ 測定5以外は次表による</p> <table border="1" data-bbox="529 1608 1476 1753"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定9, 10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノズルノズル径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(l/min)</td> <td>・1</td> <td>・5</td> <td>・10</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・5</td> <td>・120</td> <td>・240</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスベスト含有建材の処理 ・アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去方法 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設)</p>	材料名	定性分析	定量分析		・箇所数（ ）	・箇所数（ ）	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各処理作業室ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・（ ）点	・	測定2	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・（ ）点	・	測定4	セキリイゾーン入口	・（ ）点	・	測定5	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	・集じん・排気装置各1点 ・（ ）点	・	測定6	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点	・	測定7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	・（ ）点	・	測定8	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点	・	測定9	処理作業後 シート 撤去後1週間以降	処理作業室内	・（ ）点	・	測定10	調査作業室外部の付近	・（ ）点		測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定9, 10	ノズルノズル径(mm)	25	25	・	試料の吸引流量(l/min)	・1	・5	・10	試料の吸引時間(min)	・5	・120	・240									
	材料名	定性分析	定量分析																																																																															
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）																																																																																
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）																																																																																
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）																																																																																
	・箇所数（ ）	・箇所数（ ）																																																																																
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各処理作業室ごと)																																																																														
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・（ ）点																																																																														
・	測定2		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点																																																																														
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・（ ）点																																																																														
・	測定4		セキリイゾーン入口	・（ ）点																																																																														
・	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	・集じん・排気装置各1点 ・（ ）点																																																																														
・	測定6		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点																																																																														
・	測定7	処理作業後 (隔離シート撤去前)	処理作業室内	・（ ）点																																																																														
・	測定8		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点・（ ）点																																																																														
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後1週間以降	処理作業室内	・（ ）点																																																																														
・	測定10		調査作業室外部の付近	・（ ）点																																																																														
	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定9, 10																																																																															
ノズルノズル径(mm)	25	25	・																																																																															
試料の吸引流量(l/min)	・1	・5	・10																																																																															
試料の吸引時間(min)	・5	・120	・240																																																																															

章	項目	特記事項																												
9 環境配慮改修工事		<ul style="list-style-type: none"> ・アスベスト含有保温材の除去 除去工法 ※9.1.4(c)による(原形のまま, 手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲 ・図示 ・ ・9.1.3(b)による(損傷, 劣化等で石綿粉じんを発生するおそれがある場合) 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設) ・アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 ・図示 ・ 除去したアスベスト含有成形板の処分 <ul style="list-style-type: none"> ・アスベスト含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 <ul style="list-style-type: none"> ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設) 																												
	2 断熱アスファルト 防水改修工事	改修特記仕様書3章による	[9.2.1~3]																											
	3 外断熱改修工事	<p>断熱材</p> <table border="1" data-bbox="529 936 1473 1261"> <thead> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法^ホ リスレンフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※押出法^ホ リスレンフォーム保温材(スキンなし)</td> <td>・保温板(2種b) ・保温板(3種b)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・グラスウール</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・図示 ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・</p> <p>外装材</p> <table border="1" data-bbox="529 1361 1473 1440"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による ・</p> <p>工法 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍 の風圧力に対応した工法) ・適用しない</p>	種類		厚さ(mm)	・ビーズ法 ^ホ リスレンフォーム保温材			※押出法 ^ホ リスレンフォーム保温材(スキンなし)	・保温板(2種b) ・保温板(3種b)		・A種硬質ウレタンフォーム保温材			・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)			・ロックウール			・グラスウール			種類	防火性能	備考	・			[9.3.2~4]
	種類		厚さ(mm)																											
・ビーズ法 ^ホ リスレンフォーム保温材																														
※押出法 ^ホ リスレンフォーム保温材(スキンなし)	・保温板(2種b) ・保温板(3種b)																													
・A種硬質ウレタンフォーム保温材																														
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)																														
・ロックウール																														
・グラスウール																														
種類	防火性能	備考																												
・																														
4 ガラス改修工事	<p>複層ガラス</p> <table border="1" data-bbox="529 1888 1473 2067"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>断熱性</th> <th>日射遮へい性</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・断熱複層ガラス</td> <td>・1種</td> <td>U1</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>U2</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>・U-3-1 ・U-3-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	断熱性	日射遮へい性	厚さ	・断熱複層ガラス	・1種	U1	・図示	・2種	U2	・	・3種	・U-3-1 ・U-3-2		[9.4.2]														
種類	断熱性	日射遮へい性	厚さ																											
・断熱複層ガラス	・1種	U1	・図示																											
	・2種	U2	・																											
	・3種	・U-3-1 ・U-3-2																												

章	項目	特記事項															
9 環境配慮改修工事	5 断熱・防露改修工事	<p style="text-align: right;">[9.5.2, 3]</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">種類</th> <th style="width: 30%;">厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法^ホ リスレンフォーム保温材</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※押出法^ホ リスレンフォーム保温材</td> <td>・保温板(2種b)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・保温板(3種b) (スキあり)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 図示</p> <p>・断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※A種1 B種1</p> <p>厚さ(mm) 25 30</p> <p>施工箇所 図示</p> <p>・現場発泡断熱材</p>	種類	厚さ(mm)	・ビーズ法 ^ホ リスレンフォーム保温材		※押出法 ^ホ リスレンフォーム保温材	・保温板(2種b)	・25	・保温板(3種b) (スキあり)	・25	・A種硬質ウレタンフォーム保温材		・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)			
	種類	厚さ(mm)															
・ビーズ法 ^ホ リスレンフォーム保温材																	
※押出法 ^ホ リスレンフォーム保温材	・保温板(2種b)	・25															
	・保温板(3種b) (スキあり)	・25															
・A種硬質ウレタンフォーム保温材																	
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)																	
6 屋上緑化改修工事	<p style="text-align: right;">[9.6.1~3]</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム 適用する 適用しない</p> <p>芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示</p> <p>見切材, 舗装材, 水抜き管, マルチング材等 ※図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>かん水装置 設置する(種類)</p> <p>既存保護層の撤去 行う 行わない</p>																
7	透水性アスファルト舗装改修工事	<p style="text-align: right;">[9.7.2, 3, 5~9]</p> <p>適用範囲: 歩道</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種別</th> <th style="width: 65%;">材料</th> <th style="width: 20%;">厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・遮断層</td> <td>・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クランパン ・クランパン ・切込み砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理</p> <p>・添加材料による安定処理</p> <p>種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰() 消石灰()</p> <p>添加量 kg/m³ (目標CBR 5以上)</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 60g/m²以上</p> <p>厚さ(mm) 0.5~1.0</p> <p>引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上</p> <p>透水係数 1.5×10⁻¹cm/sec以上</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示	・遮断層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)	・図示	・凍上抑制層	・再生クランパン ・クランパン ・切込み砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)	・図示	・フィルター層	・砂	・図示
	種別	材料	厚さ(mm)														
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示															
・遮断層	・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)	・図示															
・凍上抑制層	・再生クランパン ・クランパン ・切込み砂利 ・川砂, 海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過率10%以下)	・図示															
・フィルター層	・砂	・図示															

		<p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 路盤材料 ※再生材のクラッシャーラン ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・ ・図示</p> <p>試験 路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1" data-bbox="529 607 1469 680"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの ・</p>	材料	厚さ (mm)	ストレートアスファルト	・図示 ・					
材料	厚さ (mm)										
ストレートアスファルト	・図示 ・										
8	PCB 含有シーリング材 処分	<table border="1" data-bbox="529 819 1469 994"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PCB 含有シーリング 分析調査 (第一次判定)</td> <td>部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB 含有シーリング 分析調査 (第二次判定)</td> <td>部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	採取する部位・箇所数	備考	・PCB 含有シーリング 分析調査 (第一次判定)	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所		・PCB 含有シーリング 分析調査 (第二次判定)	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	
種類	採取する部位・箇所数	備考									
・PCB 含有シーリング 分析調査 (第一次判定)	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所										
・PCB 含有シーリング 分析調査 (第二次判定)	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所										

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事						
A	直接工事費		1	式			
B	共通仮設費		1	式			
	合計		1	式			
	工事価格		1	式			
	消費税		1	式			
	工事費総合計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
1	直接仮設工事		1	式			
2-1	防水改修工事 (A区域)		1	式			
2-2	防水改修工事 (B・C・D区域)		1	式			
3	クーリングタワー撤去工事		1	式			
4	雑工事		1	式			
	計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	枠組本足場 縦枠巾900(2枚布) 板付き布板500×1枚	手摺先行据え置き方式、掛払い手間、修理、賃料、基本料、運搬費共	46.4	m2			
	ネット状養生シート張り	災害防止 掛払い手間、修理、賃料、基本料共	57.8	m2			
	ステージ足場	屋根材仮置き場 H=3.65	13.4	m2			
	最上部安全手摺		21.0	m			
	単管屋根足場	単管1本足場	105	m2			
	小 計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2-1	防水改修工事 (A区域)						
	空調屋外機移設		31	機			
	屋外機配管・配線延長	配線・配管 L=500	31	箇所			
	屋外機配管・配線延長	ステンレス保温カバー L=500	31	箇所			
	延長振れ止め金物	L=600	30	箇所			
	配線及び配線カバー盛り替え			人			
	高圧洗浄	水洗い工法、高圧ポンプ(10~15MPa)による水洗い・清掃	587.0	m2			
	立上り既存防水撤去	集積・積込み	76.3	m2			
	同上処分費	運搬共	0.76	t			
	立上り既存防水押え金物撤去	集積・積込み	218.0	m			
	同上処分費	運搬共	0.025	t			
	不陸調整 (平場・立上り)	樹脂モルタル塗り A2	537	m2			
	不陸調整	樹脂モルタル塗り A10	49.3	m2			
	塗膜防水 (平場)	X-1工法 (ウレタンゴム系塗膜防水)	499.0	m2			

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	塗膜防水 (立上り)	X-2工法 (ウレタンゴム系塗膜防水)	153.0	m2			
	ステンレス脱気金物		8	基			
	外壁下場コーキング	ポリウレタン20×10	99.3	m			
	同上撤去費		99.3	m			
	同上処分費		27.2	Kg			
	ドレイン清掃調整		8	箇所			
	小 計						
2-2	防水改修工事 (B・C・D区域)						
	空調屋外機移設		2	機			
	屋外機配管・配線延長	配管・配線 L=500	2	箇所			
	屋外機配管・配線延長	ステンレス保温カバー L=500	2	箇所			
	延長振れ止め金物	L=600	2	箇所			
	配線及び配線カバー盛り替え			人			

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	高圧洗浄	水洗い工法、高圧ポンプ(10～15MPa)による水洗い・清掃	542.0	m2			
	立上り既存防水撤去(C区域は一部)	集積・積込み	67.5	m2			
	同上処分費	運搬共	0.67	t			
	立上り既存防水押え金物撤去	集積・積込み	15.5	m			
	同上処分費	運搬共	0.002	t			
	不陸調整(平場・立上り) (C区域は一部)	樹脂モルタル塗り A2	389.09	m2			
	塗膜防水(平場)(C区域は一部)	X-1工法 (ウレタンゴム系塗膜防水)	321.46	m2			
	塗膜防水(立上り)(C区域は一部)	X-2工法 (ウレタンゴム系塗膜防水)	67.63	m2			
	ステンレス脱気金物		6	基			
	ドレイン清掃調整		9	箇所			
	小 計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	クーリングタワー撤去工事						
	配管撤去	冷温水管、補給水管、ガス管	559.0	Kg			
	架台撤去	L-50×50	51	m			
	架台撤去	配管支持	0.45	m ³			
	機器撤去	ポンプ	2.0	台			
	機器撤去	冷却塔一体型 100RT	1.0	台			
	バルブ撤去		305.0	Kg			
	保温材撤去	外装ステンレス	5	Kg			
	保温材撤去	グラスウール	0.4	Kg			
	レッカー代	荷下ろし 25t	1.0	台			
	集積・積込み・運搬費	4tダンプ車 (8.92t)	3	台			
	発生材処分費	金属類 (H2程度)	0.86	t			
	発生材処分費	混合廃棄物	8.06	t			
	小 計						

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	雑工事						
	ドームトップライト コーキング工事	900型上部 シリコン8×10	40.6	m			
	ドームトップライト コーキング工事	900型下部 シリコン5×5	38.2	m			
	ドームトップライト コーキング工事	1300型上部 シリコン8×10	11.3	m			
	ドームトップライト コーキング工事	1300型下部 シリコン5×5	10.9	m			
	ドームトップライト コーキング工事	1300開閉式下部 シリコン5×5	5.4	m			
	オペレーター調整	1300開閉式	1	箇所			
	壁スリーブアルミカバー	500×500 アルミニウムT=1.5 曲げ加工	2	箇所			
	同上コーキング	三角コーキング・すてコーキング 共	4	m			
	壁スリーブアルミカバー	1050×500 アルミニウムT=1.5 曲げ加工	1	箇所			
	同上コーキング	三角コーキング・すてコーキング 共	3.1	m			
	アルミカバー施工費		1	式			
	ガラストップライト コーキング工事	サッシュメタルタッチ部 15×10	37.2	m			
	ガラストップライト コーキング工事	ガラス目地部 10×10	31.2	m			

様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ガラスストップライト コーキング工事	水勾配部目地 30	12.0	m			
	ガラスストップライト コーキング工事	外周部目地 15×15	15.6	m			
	ガラスストップライト 目地撤去処分		2	箇所			
	笠木継手カバー	ガルバリウム鋼板 t=0.35 L=900 W=200 プチルゴムテープ	7	箇所			
	外壁ALC目地コーキング	ポリウレタン10×10	50.0	m			
	同上撤去費		50.0	m			
	同上処分費		7.0	Kg			
	立上り部Uカットシール工法	ポリウレタン系10×15	9.0	m			
	小 計						

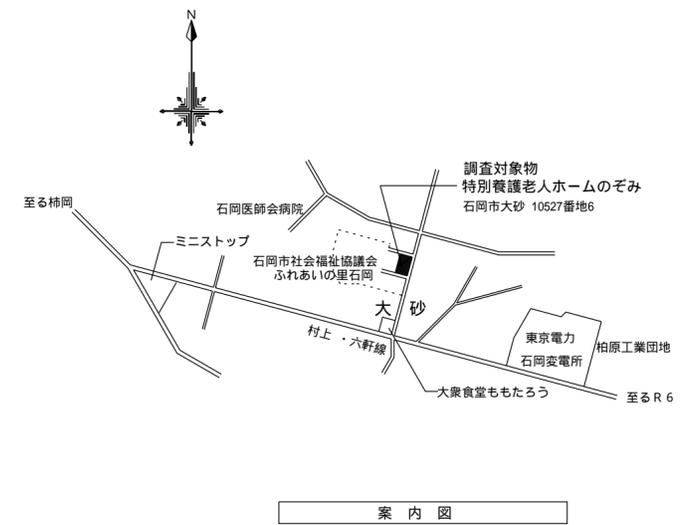
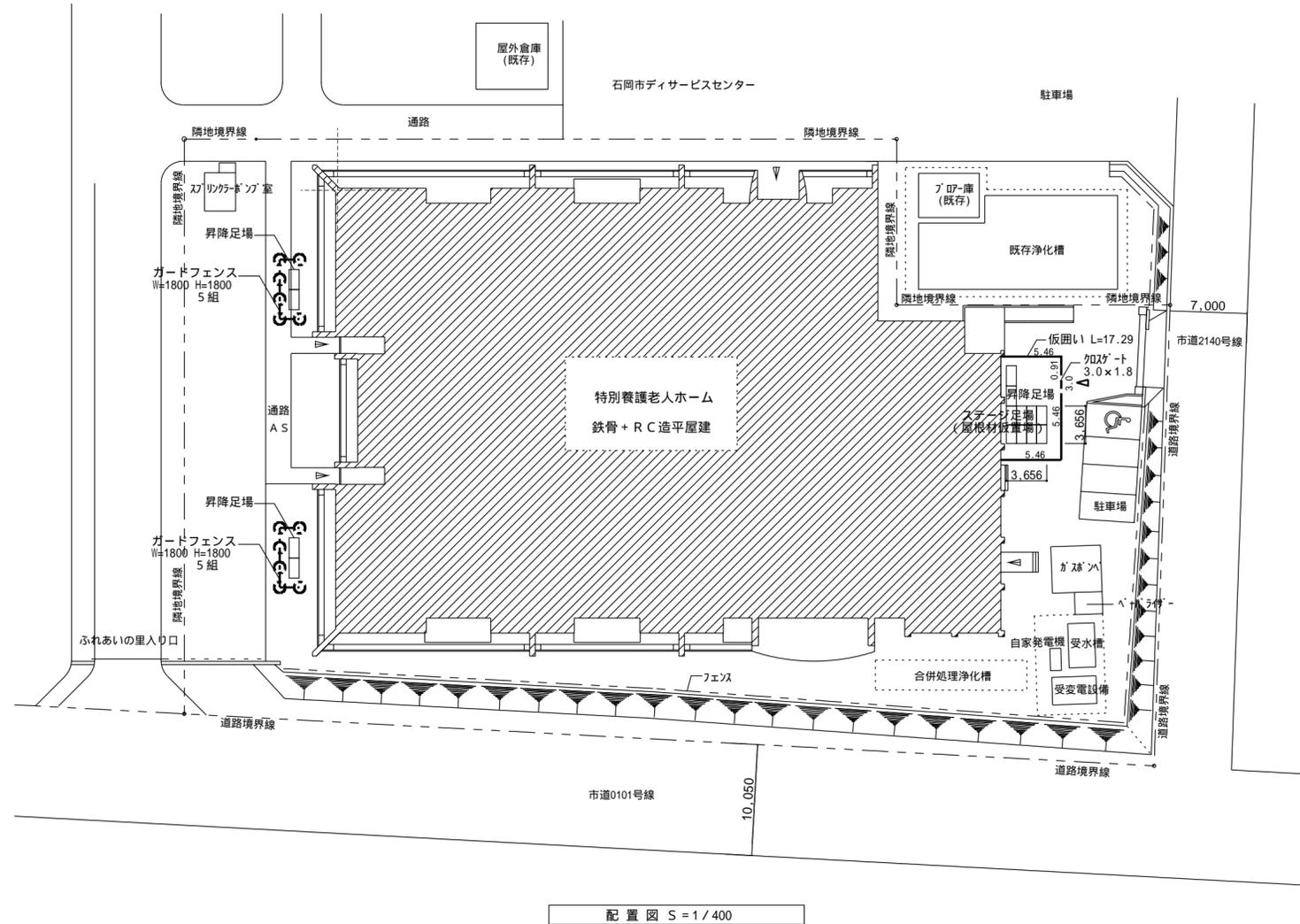
様式第6号(建築工事用)

本 工 事 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B	共通費						
1	共通仮設費	(積上げ分含む)	1	式			
	資材置場仮囲い	単管下地、波型亜鉛鉄板 H=1,800mm	17.3	m			
	クロスゲート(W=3.0m×H=1.8m)	損料含む 3ヶ月	1	ヶ所			
	ガードフェンス	W=1800 H=1800	32.4	m2			
	交通誘導員A	クレーン作業・足場組立、足場 解体日	10	日			
	小計						
2	現場管理費		1	式			
3	一般管理費等	契約保証費含む	1	式			
	計						

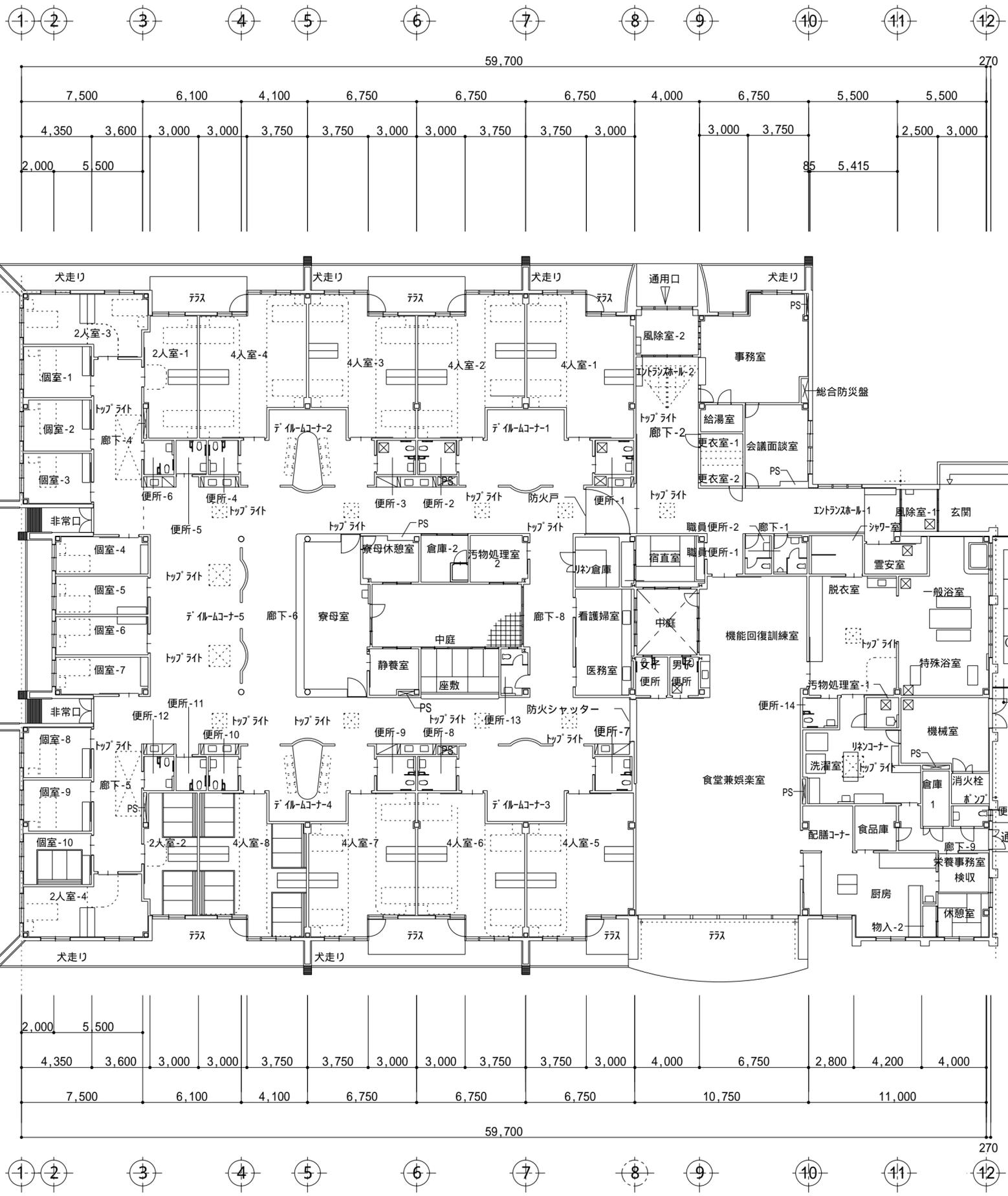
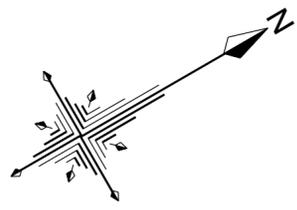
石岡市特別養護老人ホームのぞみ 屋根防水改修工事

図面リスト

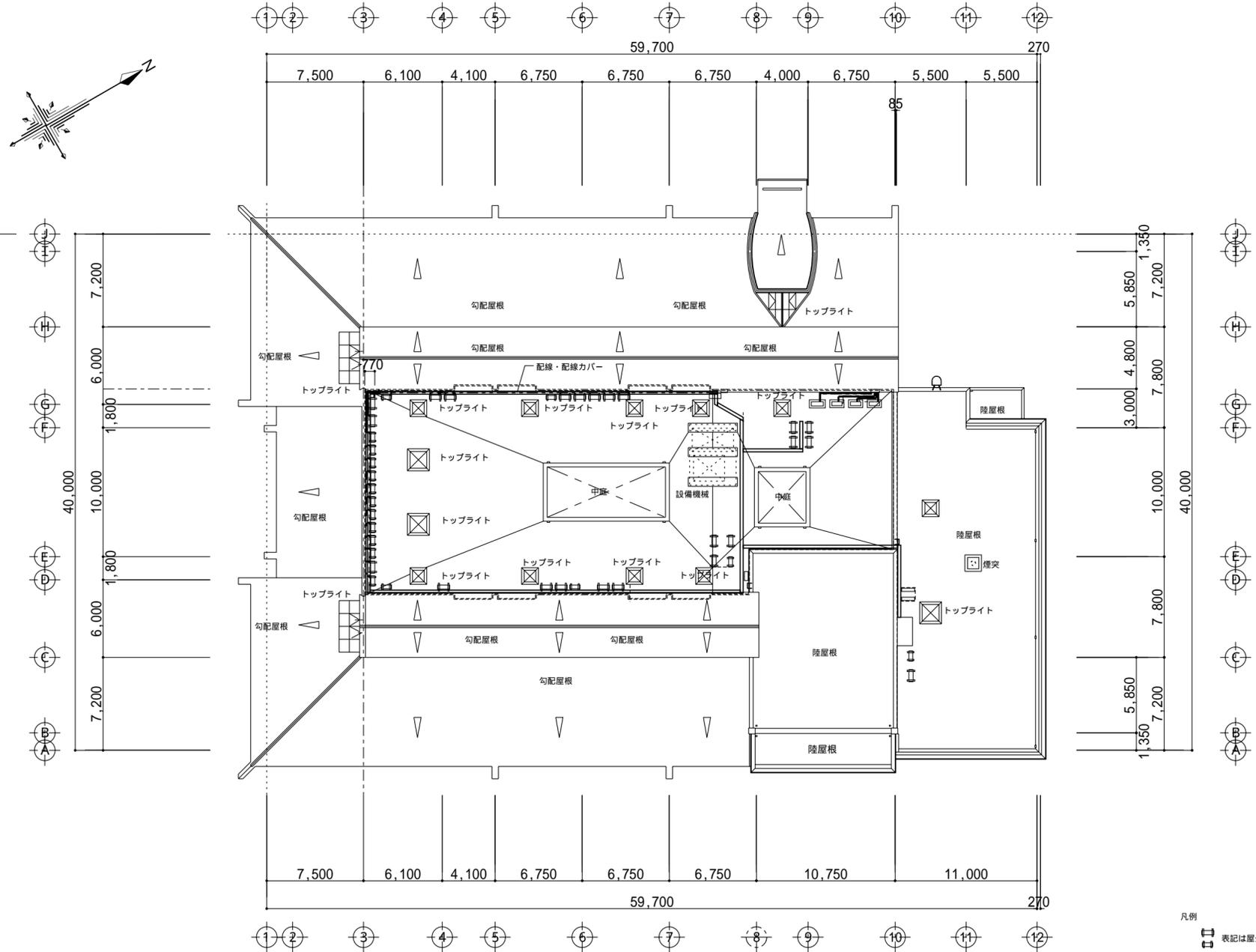
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
意匠図					
A - 00	図面リスト				
A - 01	配置図 案内図	1/400			
A - 02	平面図	1/200			
A - 03	屋根屋上伏図	1/200			
A - 04	立面図 1	1/200			
A - 05	立面図 2	1/200			
A - 06	断面図	1/50			
A - 07	改修 仕上表 部分詳細図	1/30 1/40 1/100			
A - 08	改修 屋根屋上伏図	1/200			
A - 09	改修 断面図	1/50			



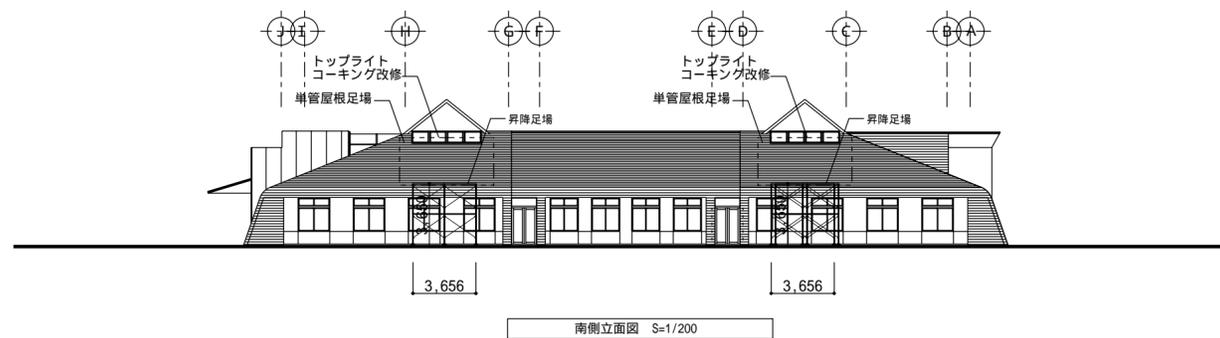
工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 配置図 案内図	縮尺 1 / 4 0 0	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城A1153-2809 1級建築士第193919号 三輪 清司 茨城県石岡市三村 2440-3 TEL 0299-59-5677	<table border="1"> <tr> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>担当</td> <td>図面NO.</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A-01</td> </tr> </table>	検印	検印	検印	検印	検印	担当	図面NO.							A-01
検印	検印	検印	検印	検印	担当	図面NO.												
						A-01												



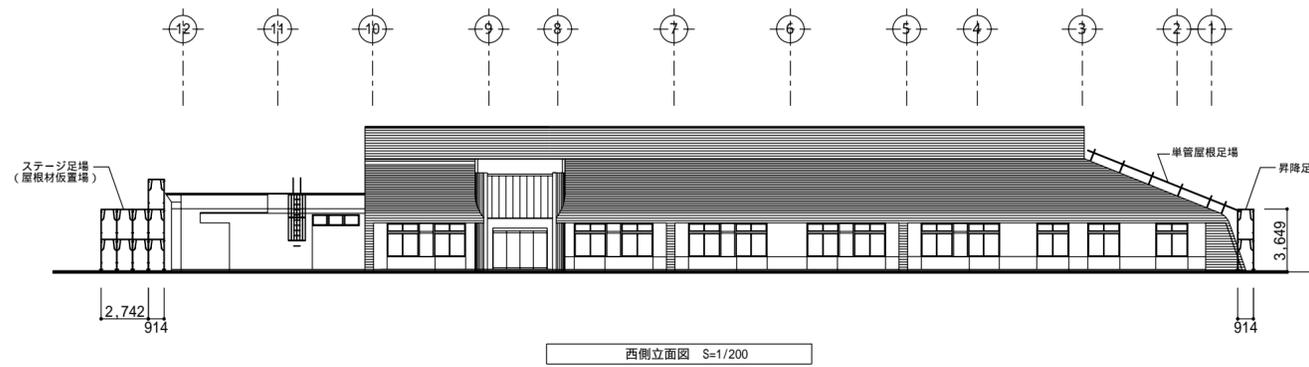
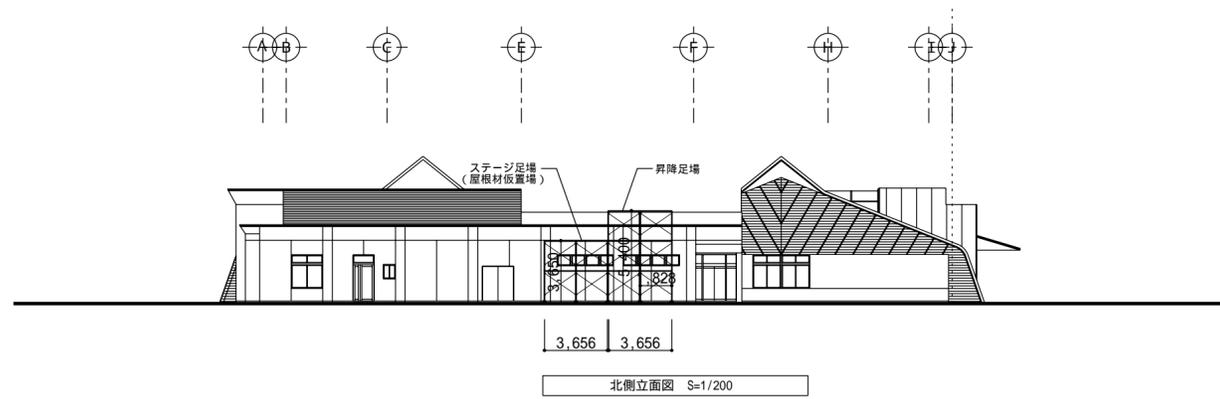
工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 1階平面図	縮尺 1 / 200	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城A1153-2809 茨城県石岡市三村 2440-3 1級建築士第193919号 三輪 清司 TEL 0299-59-5677	<table border="1"> <tr> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> <td>検印</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 担当 図面NO. A-02	検印															
検印	検印	検印	検印	検印	検印	検印	検印													



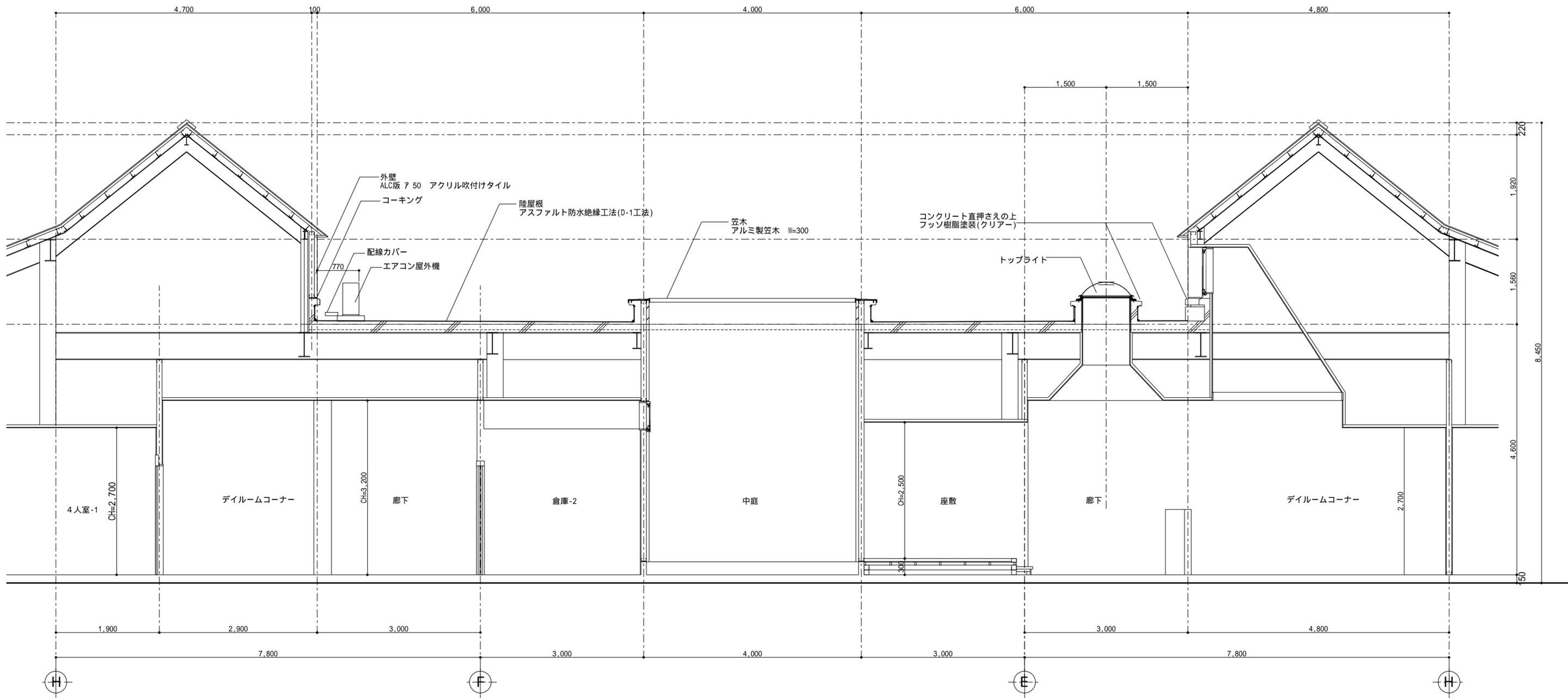
工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 屋根屋上伏図	縮尺 1/200	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城A1153-2809 茨城県石岡市三村 2440-3 1級建築士第193919号 三輪 清司 TEL 0299-59-5677	検印 	検印 	検印 	検印 	担当 	図面NO. A-03
---------------------------------	----------------	-------------	---	------------	------------	------------	------------	------------	---------------



工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 立面図 1	縮尺 1 / 200	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城A1153-2809 茨城県石岡市三村 2440-3 1級建築士第193919号 三輪 清司 TEL 0299-59-5677	検印 検印 検印 検印	担当 図面NO. A-04
---------------------------------	---------------	---------------	---	-------------	---------------------



工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 立面図 2	縮尺 1/200	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城A1153-2809 1級建築士第193919号 三輪 清司	茨城県石岡市三村 2440-3 TEL 0299-59-5677	検印	検印	検印	検印	担当	図面NO. A-05
---------------------------------	---------------	-------------	--	-------------------------------------	----	----	----	----	----	---------------



工事名称 石岡市特別養護老人ホームのぞみ屋根防水改修工事	図面名称 現況 断面図	縮尺 1 / 50	三輪 建築設計事務所 1級建築士事務所登録 茨城 A 1153 - 2809 茨城県石岡市三村 2440 - 3 1級建築士第193919号 三輪 清司 TEL 0299 - 59 - 5677	検印 <table border="1"> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					担当 図面NO. A - 06

